

ユーザーガイド

© Copyright 2012-2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて Hewlett-Packard Company が使用しています。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

改訂第 3 版：2014 年 9 月

初版：2012 年 11 月

製品番号：709332-294

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

最新のユーザー ガイドについては、<http://www.hp.com/support/> にアクセスし、国または地域を選択してください。[ドライバー&ダウンロード]を選択し、画面の説明に沿って操作します。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用するによって、お客様は HP EULA の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品（付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア）を 14 日以内に返品し、購入店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの返金を要求する場合は、お近くの販売店に問い合わせてください。

安全に関するご注意

⚠ 警告！ 低温やけどをするおそれがありますので、ひざなどの体の上にコンピューターを置いて使用したり、肌に直接コンピューターが触れている状態で長時間使用したりしないでください。肌が敏感な方は特にご注意ください。また、コンピューターが過熱状態になるおそれがありますので、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターが過熱状態になると、やけどやコンピューターの損傷の原因になる可能性があります。コンピューターは、硬く水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、ACアダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよびACアダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950-1) で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に適合しています。

目次


1 最初の操作	1
最適な使用方法	1
コンピューターを使用したエンターテインメント	1
HP が提供するその他の資料	2
ハードウェアおよびソフトウェアの情報の確認	3
2 ネットワークへの接続	4
無線ネットワークへの接続	4
無線アイコンとネットワーク ステータス アイコンの確認	4
無線コントロールの使用	4
無線ボタンの使用	4
オペレーティング システムの制御機能の使用	5
無線 LAN の使用	5
インターネット サービス プロバイダー (ISP) の使用	5
無線 LAN のセットアップ	6
無線ルーターの設定	6
無線 LAN の保護	6
無線 LAN への接続	7
Bluetooth 無線デバイスの使用	7
有線ネットワーク (LAN) への接続	8
ローカル エリア ネットワーク (LAN) への接続	8
3 エンターテインメント機能を楽しむ	9
Web カメラの使用	9
オーディオの使用	9
スピーカーの接続	9
ヘッドフォンの接続	9
マイクの接続	9
サウンドの確認	10
動画の視聴	10
VGA モニターまたはプロジェクターの接続	10
DisplayPort	11
HDMI 対応のテレビまたはモニターの接続	12
オーディオの設定 (HDMI 対応テレビの場合)	13

4 キーボードおよびポインティング デバイスの使用	14
操作キーの使用	14
タッチパッドの使用	16
移動	16
選択	16
タッチパッド ジェスチャの使用	17
水平スクロール	17
エッジスクロール	17
5 電源の管理	18
コンピューターのシャットダウン	18
電源オプションの設定	18
省電力設定の使用	18
サスペンドの開始および終了	19
ハイバネーションまたはハイブリッドスリープの開始および終了（一部のモデルのみ）	19
[Power]（電源）アイコンの使用	20
[Power Settings]（電源設定）の使用	20
現在の[Power Settings]（電源設定）の表示	20
現在の[Power Settings]（電源設定）の変更	20
バッテリー電源での駆動	20
出荷時に搭載されているバッテリー（一部のモデルのみ）	21
ユーザーが交換可能なバッテリーの取り外し（一部のモデルのみ）	21
バッテリー充電残量の表示	21
バッテリーの充電	21
バッテリーでの駆動時間の最大化	22
ローバッテリー状態への対処	22
ローバッテリー状態の確認	22
ローバッテリー状態の解決	22
外部電源を使用できる場合のローバッテリー状態への対処方法	22
充電済みのバッテリーを使用できる場合のローバッテリー状態への対処方法	22
バッテリーの節電	22
バッテリーの保管	23
使用済みのバッテリーの処分	23
バッテリーの交換	23
外部電源の使用	23
AC アダプターのテスト	24

6 情報の管理と共有	25
USB (Universal Serial Bus) デバイスの使用	25
USB デバイスの接続	26
USB デバイスの取り外し	26
デジタルストレージカードの挿入と取り出し	27
オプティカルドライブの使用	28
オプティカルディスクの挿入	29
トレイ ローディング式	29
スロット ローディング式	29
オプティカルディスクの取り出し	30
トレイ ローディング式	30
ディスクトレイが正常に開く場合	30
ディスクトレイが正常に開かない場合	30
スロット ローディング式	31
7 コンピューターのメンテナンス	32
プログラムおよびドライバーの更新	32
コンピューターの清掃	32
清掃手順	33
ディスプレイの清掃 (オールインワンまたはノートブック コンピューター)	33
側面またはカバーの清掃	33
タッチパッド、キーボード、またはマウスの清掃	33
コンピューターの持ち運びまたは送付	34
8 コンピューターと情報の保護	35
コンピューターの保護	35
パスワードの使用	35
オペレーティング システムでのパスワードの設定	36
セットアップユーティリティ (BIOS) および[Computer Setup]でのパスワードの設定	36
Administrator password (管理者パスワード) の管理	36
Administrator password (管理者パスワード) の入力	37
Power-on password (電源投入時パスワード) の管理	37
Power-on password (電源投入時パスワード) の入力	37
インターネット セキュリティ ソフトウェアの使用	37
ウイルス対策ソフトウェアの使用	37
ファイアウォール ソフトウェアの使用	38
無線ネットワークの保護	38
ソフトウェア アプリケーションおよび情報のバックアップ	38

別売のセキュリティ ロック ケーブルの使用	38
9 セットアップユーティリティ (BIOS) および[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の使用	40
セットアップユーティリティの開始	40
セットアップユーティリティの使用	40
セットアップユーティリティの言語の変更	40
セットアップユーティリティでの移動および選択	40
システム情報の表示	41
セットアップユーティリティでの工場出荷時設定の復元	41
セットアップユーティリティの終了	41
[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の使用	42
[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の USB デバイスへのダウンロード	42
10 バックアップおよび復元	44
復元イメージの作成	44
DVD への復元イメージの作成	44
USB デバイスへの復元イメージの作成	45
工場出荷時状態への復元	45
データ ファイルのバックアップ	46
データ ファイルの復元	46
11 サポート	48
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	48
ラベル	49
12 仕様	50
入力電源	50
動作環境	51
13 静電気対策	52
14 ユーザー サポート	53
サポートされている支援技術	53
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	53
索引	54

1 最初の操作

 **重要：** このコンピューターにインストールされている Ubuntu オペレーティング システムでは、他のオペレーティング システムで利用できる一部の機能がサポートされていません。たとえば、Ubuntu では、スワッチャブル グラフィックスやデュアル グラフィックス、タッチスクリーン、無線 WAN、指紋認証システム、ブルーレイ、Trusted Platform Module (トラステッド プラットフォーム モジュール)、GPS、および M.2 SSD や mSATA などのドライブがサポートされていない場合があります。Ubuntu では、Bluetooth®も完全にはサポートされていません。

このコンピューターは、ビジネスのシーンでもエンターテインメントのシーンでも存分に活用できるように設計されたパワフルなツールです。お使いのコンピューターを最大限に活用するために、セットアップ後の最適な使用方法、コンピューターを使ってできる楽しいこと、および HP が提供するさまざまな情報の入手方法などについて説明しているこの章からお読みください。

最適な使用方法

コンピューターのセットアップおよび登録が終了したら、以下の手順を行うことをおすすめします。

- リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成して、ハードドライブをバックアップします。[44 ページの「バックアップおよび復元」](#)を参照してください。
- 有線ネットワークまたは無線ネットワークに接続します。詳しくは、[4 ページの「ネットワークへの接続」](#)を参照してください。
- コンピューターのハードウェアおよびソフトウェアについて確認します。詳しくは、[3 ページのハードウェアおよびソフトウェアの情報の確認](#)および[9 ページの「エンターテインメント機能を楽しむ」](#)を参照してください。
- ウィルス対策ソフトウェアを更新または購入します。詳しくは、[37 ページのウィルス対策ソフトウェアの使用](#)を参照してください。

コンピューターを使用したエンターテインメント

- コンピューターで YouTube 動画を再生したり、コンピューターをテレビに接続したりできます。詳しくは、[12 ページの HDMI 対応のテレビまたはモニターの接続](#)を参照してください。
- コンピューターで音楽を再生したり、放送中のラジオ番組をコンピューターにストリーミングして、世界各地のラジオの音楽番組やトーク番組を再生したりできます。[9 ページのオーディオの使用](#)を参照してください。
- お使いのコンピューターを使用すると、パワフルなプレゼンテーションを作成したり、プロジェクターを接続してグループでアイデアを共有したりできます。[10 ページの VGA モニターまたはプロジェクターの接続](#)を参照してください。

HP が提供するその他の資料

印刷物の『セットアップ手順』ポスターの説明に沿ってコンピューターの電源を入れ、このガイドを見つけます。このガイドに記載されている情報を確認した後は、下の表に記載されている説明書や Web サイトも参照してください。

資料	内容
『セットアップ手順』ポスター（印刷物）	<ul style="list-style-type: none">コンピューターのセットアップおよび機能の概要
『Ubuntu Desktop Guide』（Ubuntu デスクトップガイド） このガイドを表示するには、 f1 キーを押します	<ul style="list-style-type: none">使用方法およびトラブルシューティングに関する幅広い情報およびヒント
『快適に使用していただくために』 このガイドを表示するには、デスクトップの[HP Documents]（HP ドキュメント）アイコンをダブルクリックするか、 http://www.hp.com/ergo/ から[日本語]を選択します	<ul style="list-style-type: none">正しい作業環境の整え方快適だけがを防ぐための姿勢および作業上の習慣に関するガイドライン電気的および物理的安全基準に関する情報
HP のサポート 日本でのサポートについては、製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』または HP の Web サイト、 http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。日本以外の国や地域については、 http://welcome.hp.com/country/us/en/wcontact_us.html （英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください	<ul style="list-style-type: none">HP のサービス担当者とオンラインでチャットするHP のサポート窓口に電子メールで問い合わせる各国の HP のサポート窓口の電話番号を調べるHP のサービスセンターを探す
『規定、安全、および環境に関するご注意』 このガイドを表示するには、デスクトップの[HP Documents]アイコンをダブルクリックします	<ul style="list-style-type: none">重要な規定情報（バッテリーの処分方法など）
限定保証規定* 日本向けの日本語モデルに適用される HP 限定保証規定は、製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されています	<ul style="list-style-type: none">このコンピューターの具体的な保証内容

* お使いの製品に適用される HP 限定保証規定は、国や地域によっては、お使いのコンピューターに収録されているドキュメントまたは製品に付属の CD や DVD に収録されているドキュメントに明示的に示されています。日本向けの日本語モデル製品には、保証内容を記載した小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』が付属しています。また、日本以外でも、印刷物の HP 限定保証規定が製品に付属している国や地域もあります。保証規定が印刷物として提供されていない国または地域では、印刷物のコピーを入手できます。<http://www.hp.com/go/orderdocuments/> でオンラインで申し込むか、または下記宛てに郵送でお申し込みください。

- 北米** : Hewlett-Packard, MS POD, 11311 Chinden Blvd., Boise, ID 83714, USA
- ヨーロッパ、中東、アフリカ** : Hewlett-Packard, POD, Via G. Di Vittorio, 9, 20063, Cernusco s/Naviglio (MI), Italy
- アジア太平洋** : Hewlett-Packard, POD, P.O. Box 200, Alexandra Post Office, Singapore 911507

保証規定の印刷物のコピーを請求する場合は、製品番号および保証期間（サービス ラベルに記載されています）、ならびにお客様のお名前およびご住所をお知らせください。

重要： お使いの HP 製品を上記の住所宛てに返品しないでください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

ハードウェアおよびソフトウェアの情報の確認

1. 上部パネルの右端にある[System menu] (システム メニュー) アイコン→[System Settings] (システム設定) の順にクリックします。
2. [System] (システム) セクションで[Details] (詳細) アイコンを選択します。

お使いのコンピューターにインストールされている、オプティカルドライブ、SSD (Solid State Drive)、またはセカンダリハードドライブを含むすべてのデバイスが[Overview] (概要) に表示されます。

コンピューターにインストールされているソフトウェアを確認するには、以下の操作を行います。

1. デスクトップの左側にある[Launcher] (ランチャー) で[Ubuntu Software Center] (Ubuntu ソフトウェアセンター) ボタンをクリックしてから、ウィンドウの上部で[Installed] (インストール済み) をクリックして、ソフトウェアのカテゴリを表示します。
2. ソフトウェアのカテゴリをクリックして、そのカテゴリのインストール済みソフトウェアを表示します。

2 ネットワークへの接続




お使いのコンピューターは、どこへでも持ち運べます。しかし、自宅にいるときでも、コンピューターを有線または無線ネットワークに接続して使用すれば、世界中を検索して何百万もの Web サイトの情報を参照できます。この章では、ネットワークで世界と接続する方法について説明します。

無線ネットワークへの接続

無線ネットワークでは、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが1つまたは複数内蔵されている場合があります。

- 無線ローカルエリアネットワーク（無線 LAN）デバイス：会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、喫茶店、ホテル、大学など）で、コンピューターを無線ローカルエリアネットワーク（一般に、無線 LAN ネットワーク、無線 LAN と呼ばれます）に接続します。無線 LAN では、コンピューターのモバイル無線デバイスは無線ルーターまたは無線アクセスポイントと通信します。
- Bluetooth®デバイス：他の Bluetooth 対応デバイス（コンピューター、電話機、プリンター、ヘッドセット、スピーカー、カメラなど）に接続するためのパーソナルエリアネットワーク（PAN）を確立します。PAN では、各デバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス同士が比較的近距離になければなりません（通常は約 10 m 以内）。

無線アイコンとネットワークステータスアイコンの確認

アイコン	名前	説明
	無線（接続済み）	無線デバイスが少なくとも1つは有効になっていることを示します
	ネットワーク接続（接続済み）	有線ネットワークに接続していて、有効になっていることを示します。有線および無線接続が両方とも有効になっている場合、オペレーティングシステムは、より高速な有線接続を使用します
	ネットワーク接続（切断済み）	有線および無線ネットワークに接続していないことを示します

無線コントロールの使用


以下の1つまたは複数の機能を使用して、コンピューター本体の無線デバイスを制御できます。

- 無線ボタン、無線スイッチ、または無線キー（この章ではこれらすべてを無線ボタンと呼びます）（一部のモデルのみ）
- オペレーティングシステムの制御機能

無線ボタンの使用

モデルにもよりますが、コンピューターには無線ボタン、1つまたは複数の無線デバイス、1つまたは複数の無線ランプがあります。出荷時の設定でコンピューターのすべての無線デバイスが有効になっている場合、最初にコンピューターの電源を入れたときに白色の無線ランプが点灯します。

無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個々のデバイスの状態を表すものではありません。無線ランプが白色の場合は、少なくとも1つの無線デバイスがオンになっていることを示しています。無線ランプがオレンジ色の場合は、すべての無線デバイスがオフになっていることを示しています。

出荷時の設定ではすべての無線デバイスが有効になっています。このため、複数の無線デバイスのオンとオフの切り替えを、無線ボタンで同時に行うことができます。無線デバイスのオンとオフを個別に調整するには、上部パネルの右端にある[Network menu] (ネットワーク メニュー) アイコン  →[Edit Connections] (接続の編集) の順にクリックします。


オペレーティング システムの制御機能の使用


有線または無線ネットワーク デバイスを有効または無効にするには、以下の操作を行います。

1. 上部パネルの右端にある[Network menu] (ネットワーク メニュー) アイコンをクリックします。
2. 以下のデバイスのどちらかを有効または無効にするには、該当するオプションのチェックを入れるかチェックを外します。
 - [Enable Networking] (ネットワークの有効化) : (すべてのネットワーク デバイス)
 - [Enable Wireless] (無線の有効化)

無線 LAN の使用

無線 LAN デバイスを使用すると、無線ルーターまたは無線アクセス ポイントによってリンクされた、複数のコンピューターおよび周辺機器で構成されている無線ローカル エリア ネットワーク (無線 LAN) にアクセスできます。

 **注記：** 無線接続を作成したり、ネットワーク内のユーザーにアクセスを許可したりするときには、root パスワードの入力を求められます。


 **注記：** 無線ルーターと無線アクセス ポイントという用語は、同じ意味で使用されることがよくあります。

- 企業または公共の無線 LAN など、大規模な無線 LAN では通常、大量のコンピューターおよび周辺機器に対応したり、重要なネットワーク機能を分離したりできる無線アクセス ポイントを使用します。
- SOHO 環境で使われる無線 LAN では通常、無線ルーターを使用して、複数台の無線接続または有線接続のコンピューターでインターネット接続、プリンター、およびファイルを共有できます。追加のハードウェアやソフトウェアは必要ありません。

お使いのコンピューターに搭載されている無線 LAN デバイスを使用するには、無線 LAN インフラストラクチャ (サービス プロバイダーか、公共または企業ネットワークを介して提供されます) に接続する必要があります。

インターネット サービス プロバイダー (ISP) の使用


自宅でインターネット アクセスをセットアップするには、インターネット サービス プロバイダー (ISP) のアカウントを設定する必要があります。インターネット サービスの申し込みおよびモデムの購入については、利用する ISP に問い合わせてください。ほとんどの ISP が、モデムのセットアップ、無線コンピューターをモデムに接続するためのネットワーク ケーブルの取り付け、インターネット サービスのテストなどの作業に関するサポートを提供しています。

 **注記：** インターネットにアクセスするためのユーザー ID およびパスワードは、利用する ISP から提供されます。この情報は、記録して安全な場所に保管しておいてください。

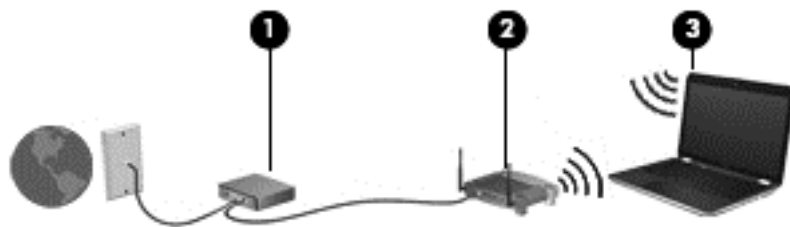
無線 LAN のセットアップ

無線 LAN をセットアップし、インターネットに接続するには、以下のような準備が必要です。

- ブロードバンド モデム (DSL または ケーブル) (1) および インターネット サービス プロバイダー (ISP) が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルーター (2) (別売)
- 無線コンピューター (3)

 **注記:** 一部のモデムには、無線ルーターが内蔵されています。モデムの種類については、ISP にお問い合わせを確認してください。

以下の図は、インターネットに接続している無線ネットワークの設置例を示しています。




お使いのネットワークを拡張する場合、新しい無線または有線のコンピューターやタブレットをネットワークに追加してインターネットに接続できます。

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルーターの製造元または ISP から提供されている情報を参照してください。

無線ルーターの設定

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルーターの製造元またはインターネット サービス プロバイダー (ISP) から提供されている情報を参照してください。

 **注記:** 最初に、ルーターに付属しているネットワーク ケーブルを使用して、新しい無線コンピューターをルーターに接続することをおすすめします。コンピューターが正常にインターネットに接続できることを確認したら、ケーブルを外し、無線ネットワークを介してインターネットにアクセスします。

無線 LAN の保護

無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。無線 LAN スポットと呼ばれるインターネット カフェや空港などで利用できる公衆無線 LAN では、セキュリティ対策が採られていないことがあります。無線 LAN スポットを利用するときにコンピューターのセキュリティに不安がある場合は、ネットワークに接続しての操作を、機密性の低い電子メールや基本的なネットサーフィン程度にとどめておいてください。

無線信号はネットワークの外に出てしまうため、保護されていない信号を他の無線 LAN デバイスに拾われる可能性があります。事前に以下のような対策を採ることで無線 LAN を保護します。

- ファイアウォールを使用する

ファイアウォールは、ネットワークに送信されてくるデータとデータ要求をチェックし、疑わしいデータを破棄します。ファイアウォールの種類は、ソフトウェアとハードウェアに分けられます。ネットワークによっては、両方の種類を組み合わせで使用します。Ubuntu にはファイアウォールソフトウェアは搭載されていませんが、Ubuntu が提供している無料のファイアウォールユーティリティである[Gufw]をダウンロードできます。[Gufw]をダウンロードおよびインス

トールする方法について詳しくは、[38 ページのファイアウォールソフトウェアの使用](#)を参照してください。

- 無線を暗号化する


無線の暗号化では、ネットワークで送受信されるデータの暗号化と復号化を行ってセキュリティを高めめます。


無線 LAN への接続

無線 LAN に接続するには、以下の操作を行います。


1. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。オンになっている場合は、無線ランプが白色に点灯しています。無線ランプがオレンジ色に点灯している場合は、無線ボタンを押します。
2. 上部パネルの右端にある[Network menu] (ネットワーク メニュー) アイコンをクリックします。
[Wireless Networks] (無線ネットワーク) の下に、使用できる無線ネットワークの一覧が表示されます。
3. 目的の無線ネットワークをクリックします。

ネットワークがセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、ネットワーク セキュリティコードの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、[OK]をクリックして接続を完了します。

 **注記：** 自動的に検出されないネットワークに接続するには、[Network menu] アイコンをクリックして、[Connect to Hidden Wireless Network] (非表示の無線ネットワークへの接続) を選択します。ESSID 情報を入力して、暗号化パラメーターを設定します。

 **注記：** お使いのネットワークを隠すように設定していない場合に無線 LAN が一覧に表示されないときは、ユーザーが無線ルーターまたはアクセス ポイントの範囲外にいることとなります。

接続したいネットワークが表示されない場合は、上部パネルの右端にある[Network menu] アイコン→[Edit Connections] (接続の編集) の順にクリックします。

 **注記：** 動作範囲 (無線信号が届く範囲) は、無線 LAN の機器の数や配置などの展開状況、ルーターの製造元、および壁や床などの建造物やその他の電子機器からの干渉に応じて異なります。

Bluetooth 無線デバイスの使用

モデルによっては、コンピューターに Bluetooth デバイスが内蔵されている場合があります。Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、以下のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。

- コンピューター (デスクトップ、ノートブック、タブレット、PDA)
- 電話機 (携帯、コードレス、スマートフォン)
- イメージング デバイス (プリンター、カメラ)
- オーディオ デバイス (ヘッドセット、スピーカー)
- マウス

Bluetooth デバイスは、Bluetooth デバイスの PAN (Personal Area Network) を設定できるピアツーピア機能を提供します。Bluetooth デバイスの設定と使用方法については、Bluetooth ソフトウェアのヘルプを参照してください。

有線ネットワーク（LAN）への接続

有線 LAN に接続するには、8 ピンの RJ-45 ネットワーク ケーブルが必要です。

⚠ 警告！ 火傷や感電、火災、および装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルまたは電話ケーブルを RJ-45（ネットワーク）コネクタに接続しないでください。

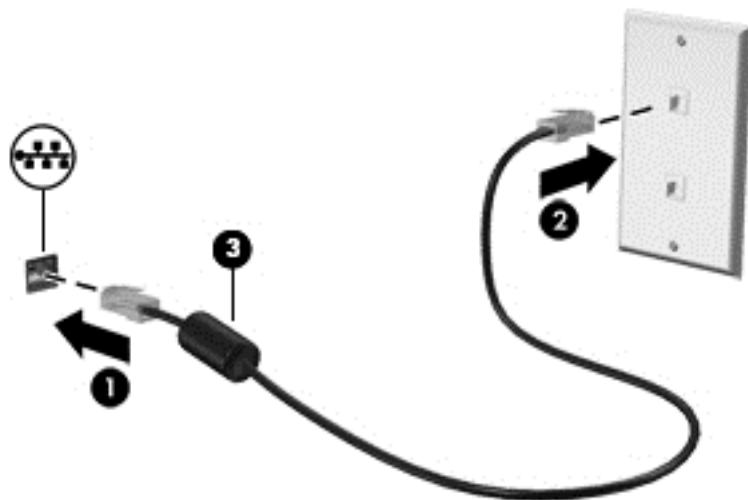
ローカルエリア ネットワーク（LAN）への接続

コンピューターを自宅のルーターに直接有線接続する（無線で作業しない）場合、または会社の既存の有線ネットワークに接続する場合は、LAN 接続を使用します。

ネットワーク ケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

1. ネットワーク ケーブルの一方の端をコンピューター本体のネットワーク コネクタに差し込みます (1)。
2. ネットワーク ケーブルのもう一方の端をデジタル モジュラー コンセントまたはルーターに差し込みます (2)。

📝 注記： ネットワーク ケーブルに、テレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア (3) が取り付けられている場合は、コアが取り付けられている方の端をコンピューターに接続します。



3 エンターテインメント機能を楽しむ

お使いのコンピューターをエンターテインメントのハブとして使用して、Web カメラを使ったソーシャル ネットワーキングを行ったり、音楽の再生や管理をしたり、映画のダウンロードや視聴を行ったりできます。または、コンピューターをさらにパワフルなエンターテインメントセンターにするには、モニター、プロジェクター、テレビ、スピーカー、ヘッドフォン、さらに一部のモデルではHD 対応デバイスなどの外付けデバイスを接続します。また、Web カメラを Google の[ハングアウト]や [Skype]などのアプリケーションとともに使用することもできます。

Web カメラの使用

お使いのコンピューターには、Web カメラが内蔵されている場合があります。Web カメラはソーシャル ネットワーキングのパワフルなツールで、すぐ隣にいる友人や同僚とも、地球の裏側にいる友人や同僚とも、同じように間近に感じるコミュニケーションが取れます。Web カメラを使用すると、インスタントメッセージ ソフトウェアによる動画のストリーミングが行えます。また、プリインストールされている[Camera]（カメラ）ソフトウェアを使用すると、静止画像の撮影が行えます。

オーディオの使用

光学ドライブを内蔵した HP 製コンピューターでは、音楽 CD の再生、音楽のダウンロードや再生、Web 上のオーディオ コンテンツ（ラジオなど）のストリーミング、オーディオの録音、オーディオとビデオの組み合わせによるマルチメディアの作成などが可能です。オーディオを聴く楽しみを広げるには、スピーカーやヘッドフォンなどの外付けオーディオ デバイスを接続します。

スピーカーの接続

有線のスピーカーをコンピューターに接続する場合は、コンピューターまたはドッキング ステーションの USB ポート（またはオーディオ出力コネクタ）に接続します。

無線スピーカーをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。HD 対応スピーカーをコンピューターに接続するには、[13 ページのオーディオの設定 \(HDMI 対応テレビの場合\)](#)を参照します。オーディオ デバイスを接続する前に、必ず音量を調整してください。

ヘッドフォンの接続

有線のヘッドフォンは、コンピューターのヘッドフォン コネクタに接続できます。

無線のヘッドフォンをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

△ 警告！ 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

マイクの接続

オーディオを録音するには、コンピューターのマイク コネクタにマイクを接続します。良好な録音結果を得るため、雑音がないように設定して、直接マイクに向かって話します。


サウンドの確認

お使いのコンピューターのシステム サウンドを確認するには、以下の操作を行います。

1. 上部パネルの右端にある[System menu] (システム メニュー) アイコンをクリックしてから、[System Settings] (システム設定) →[Sound] (サウンド) アイコンの順にクリックします。
2. [Sound Effects] (サウンド エフェクト) タブをクリックし、[Choose an alert sound] (警告音を選択) の下にあるサウンド オプションのどれかを選択して個々のサウンドをテストします。

コンピューターの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. 上部パネルの右端にある[System menu] アイコンをクリックしてから、[System Settings] →[Sound] アイコンの順にクリックします。
2. [Input] (入力) タブをクリックしてから、ウィンドウの左側にある[Record sound from] (録音サウンド フォーム) パネルで、[Line in] (ライン入力) または[Internal Microphone] (内蔵マイク) を選択します。
3. 目的の設定になるように[Input volume] (入力音量) スライダーを動かして、入力音量を調整します。


 **注記:** 良好な録音結果を得るため、雑音がないように設定して、直接マイクに向かって話します。

コンピューターのオーディオ設定を確認または変更するには、上部パネルの右端にある[Sound menu] (サウンド メニュー) アイコンをクリックします。

動画の視聴


お使いのコンピューターはパワフルなビデオ デバイスであり、お気に入りの Web サイトの動画のストリーミングを視聴したり、動画や映画をあらかじめダウンロードしてネットワークにアクセスしないでコンピューター上で視聴したりできます。

コンピューターのビデオ コネクタのどれかに外付けモニター、プロジェクター、またはテレビを接続することで、視聴の楽しみが広がります。ほとんどのコンピューターには VGA (Video Graphics Array) コネクタがあり、アナログ ビデオ デバイスに接続します。コンピューターによっては DisplayPort が搭載されています。この場合は、DisplayPort を高性能なモニターやプロジェクターなどの別売のデジタル ディスプレイに接続します。また、一部のコンピューターには、HDMI (High-Definition Multimedia Interface) 出力端子も搭載されており、HD 対応のモニターまたはテレビに接続できます。

 **重要:** 外付けデバイスが、正しいケーブルを使用してコンピューター上の正しいコネクタに接続されていることを確認してください。不明点や疑問点がある場合は、デバイスの製造販売元の説明を確認してください。

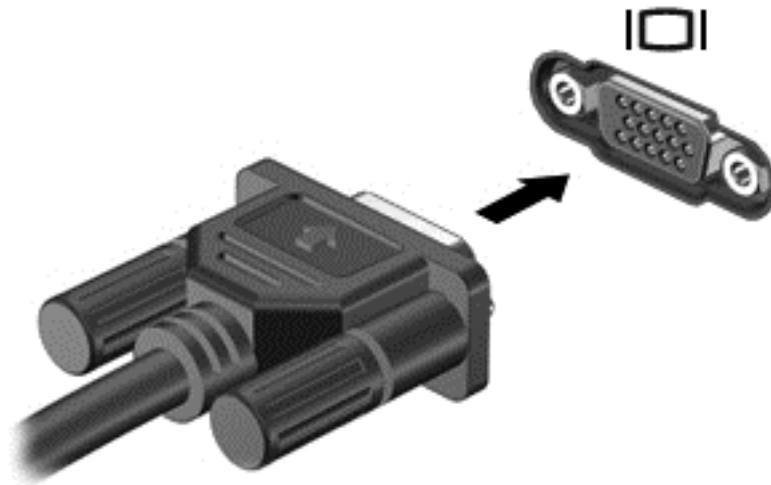
VGA モニターまたはプロジェクターの接続

コンピューターの表示画面をモニターやプロジェクターなどの外付けの VGA モニターまたはプロジェクターに切り替えてプレゼンテーションを行うには、モニターまたはプロジェクターを HDMI to VGA アダプターに接続し、アダプターをコンピューターの HDMI 出力端子に接続します。


 **注記:** 外付けデバイスの解像度を調整してください。上部パネルの右端にある[System menu] (システム メニュー) アイコン →[Displays] (ディスプレイ) の順にクリックしてから、[Resolution] (解像度) の横にあるドロップダウンメニューで解像度を選択します。[Launcher placement] (ランチャーの配置) の横にあるドロップダウンメニューで、[Launcher] (ランチャー) を表示するディスプレイを選択します。[Apply] (適用) をクリックして変更を適用します。

モニターまたはプロジェクターを接続するには、以下の操作を行います。

1. モニターまたはプロジェクターとコンピューターのVGAコネクタを、以下の図のようにVGAケーブルで接続します。



2. **f4** キーを押すと、表示画面が以下の4つの表示状態の間で切り替わります。

 **注記：** お使いのモデルによっては、この操作のファンクションキーが異なる場合があります。

- **Laptop display only (ラップトップのディスプレイのみ)：** コンピューター本体の画面にのみ表示します。
- **Mirror displays (ディスプレイのミラーリング)：** コンピューター本体および外付けデバイスの両方の画面に同時に表示します。
- **拡張：** コンピューター本体および外付けデバイスの両方にわたって画像を拡張します。
- **External monitor only (外付けモニターのみ)：** 外付けデバイスの画面にのみ表示します。


f4 キーを押すたびに、表示状態が切り替わります。


f4 キーを押しても外付けモニターが検出されなかった場合は、以下の操作を行います。

1. 上部パネルの右端にある[System menu]アイコン→[Displays]の順にクリックします。
2. [Detect Displays] (ディスプレイの検出) ボタンをクリックします。
3. [On/Off] (オン/オフ) スライダー ボタンを、ディスプレイレイアウトの下にある[On] (オン) の方向に動かします。初期設定のモニターが検出されない場合は、外付けモニターの仕様を参照して解像度とリフレッシュレートを設定します。必要に応じて自動回転を変更します。ディスプレイのミラーリングが必要な場合は、[Mirror Displays] (ディスプレイのミラーリング) チェックボックスにチェックを入れます。
4. 設定が完了したら、[Apply]をクリックし、次に[OK]をクリックします。

DisplayPort

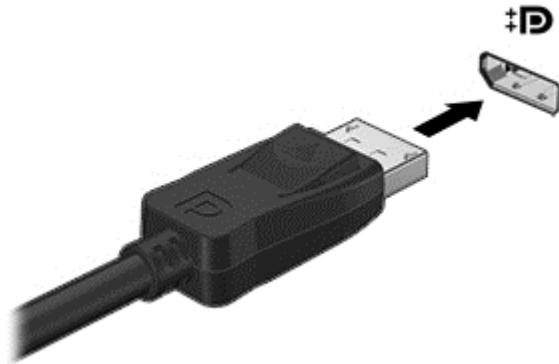
DisplayPort は、HD 対応テレビ、対応しているデジタルまたはオーディオ コンポーネントなどのビデオまたはオーディオ デバイスとコンピューターを接続するためのコネクタです。DisplayPort はVGA 外付けモニター コネクタを上回るパフォーマンスを提供し、デジタル接続の質を向上させます。


 **注記：** DisplayPort を使用してビデオ信号または音声信号を伝送するには、DisplayPort ケーブル（別売）が必要です。

 **注記：** コンピューターの DisplayPort コネクタには、1つの DisplayPort デバイスを接続できます。コンピューター本体の画面に表示される情報を DisplayPort デバイスに同時に表示できます。


DisplayPort にビデオまたはオーディオ デバイスを接続するには、以下の操作を行います。

1. DisplayPort ケーブルの一方の端をコンピューターの DisplayPort コネクタに接続します。



 **注記：** DisplayPort 端子の形状は、モデルによって異なります。


2. ケーブルのもう一方の端をビデオ デバイ스에接続します。接続後の手順については、製造元の説明書を参照してください。

 **注記：** デバイスのケーブルを取り外すには、コネクタのリリース ボタンを押し下げます。

HDMI 対応のテレビまたはモニターの接続

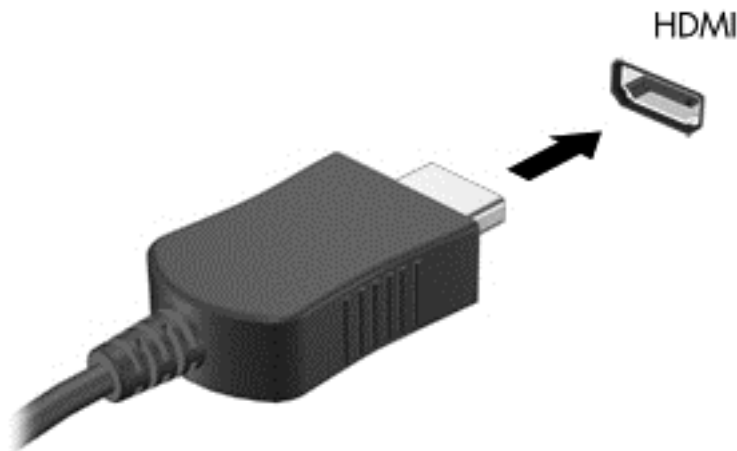
HD 対応のテレビまたはモニターでコンピューターの表示画面を見るには、以下の手順に従って HD 対応のデバイスを接続します。


HDMI デバイスをコンピューターに接続するには、別売の HDMI ケーブルが必要です。

 **注記：** 「拡張」オプションを選択した場合は特に、外付けデバイスの解像度を調整してください。良好な結果を得るには、上部パネルの右端にある[System menu]（システムメニュー）アイコン→[Displays]（ディスプレイ）の順にクリックしてから、[Resolution]（解像度）の横にあるドロップダウンメニューで解像度を選択します。

HD 対応のテレビまたはモニターをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピューターの HDMI 出力端子に接続します。



 **注記：** HDMI 端子の形状は、モデルによって異なります。

2. ケーブルのもう一方の端を HD 対応のテレビまたはモニターに接続します。
 3. **f4** キーを押すと、コンピューターの表示画面が以下の 4 つの表示状態の間で切り替わります。
 - **Laptop display only (ラップトップのディスプレイのみ)**：コンピューター本体の画面にのみ表示します。
 - **Mirror displays (ディスプレイのミラーリング)**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方の画面に同時に表示します。
 - **拡張**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方にわたって画像を拡張します。
 - **External monitor only (外付けモニターのみ)**：外付けデバイスの画面にのみ表示します。
- f4** キーを押すたびに、表示状態が切り替わります。

オーディオの設定 (HDMI 対応テレビの場合)

HDMI は、HD 対応のビデオとオーディオをサポートする唯一のビデオ インターフェイスです。HDMI 対応のテレビをコンピューターに接続した後、以下の操作を行って HDMI オーディオをオンにできます。

1. 上部パネルの右端にある **[Sound menu]** (サウンドメニュー) アイコン → **[Sound Settings]** (サウンド設定) の順にクリックします。
2. **[Output]** (出力) タブで、**[Internal Audio Digital Stereo (HDMI)]** (内部オーディオ デジタル ステレオ (HDMI)) をクリックします。
3. **[Sound]** (サウンド) ウィンドウを閉じます。

オーディオのストリーミングをコンピューターのスピーカーに戻すには、以下の操作を行います。

1. 上部パネルの右端にある **[Sound menu]** アイコン → **[Sound Settings]** の順にクリックします。
2. **[Output]** タブで、**[Internal Audio Analog Stereo]** (内部オーディオ アナログ ステレオ) をクリックします。
3. **[Sound]** ウィンドウを閉じます。


4 キーボードおよびポインティング デバイスの使用

お使いのコンピューターでは、キーボードやポインティング デバイスを使用して画面を見ながら簡単に操作が行えます。一部のモデルには、よく使用する操作を実行できる操作キーまたはホットキー機能も含まれています。タッチ패드では、外付けマウスで実行する場合と同じように、画面に表示されている機能を実行できます。

ポインティング デバイスの機能を調べたり、目的の設定を選択したりするには、以下の操作を行います。


1. 上部パネルの右端にある[System menu] (システム メニュー) アイコン→[System Settings] (システム設定) の順にクリックします。
2. [Mouse and Touchpad] (マウスとタッチ패드) をクリックします。

外付け USB マウス (別売) をコンピューターの USB ポートのどれかに接続して使用できます。


 **注記:** 国または地域によっては、キーボードに含まれるキーおよびキーボード機能がこの項目での説明と異なる場合もあります。

操作キーの使用

操作キーを押すと、割り当てられている機能が実行されます。f1~f12 の各キーのアイコンは、操作キーに割り当てられている機能を表します。通常、f5 キーを押すとファイル ブラウザーが起動し、[Home Folder] (ホーム フォルダー) の内容が表示されます。



 **注記:** ここでは、ほとんどのモデルに共通の操作キーについて説明します。一部の操作キーは、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。













操作キーの機能を使用するには、そのキーを押します。

 **注意:** セットアップユーティリティで設定変更を行う場合は、細心の注意を払ってください。設定を誤ると、コンピューターが正しく動作しなくなる可能性があります。

操作キーの機能は、出荷時に有効に設定されています。この機能は、セットアップユーティリティ (BIOS) で無効にできます。セットアップユーティリティ (BIOS) を開いたときの手順については、[40 ページの「セットアップユーティリティ \(BIOS\) および\[HP PC Hardware Diagnostics\] \(UEFI\) の使用」](#)を参照し、画面下部の説明に沿って操作してください。

操作キーの機能を無効にした後も、fn キーを適切な操作キーと組み合わせて押すことによって、各機能を引き続き実行できます。

アイコン	説明
	『Ubuntu Desktop Guide』 (Ubuntu デスクトップガイド) を表示します
	このキーを押し続けると、画面輝度が一定の割合で徐々に下がります

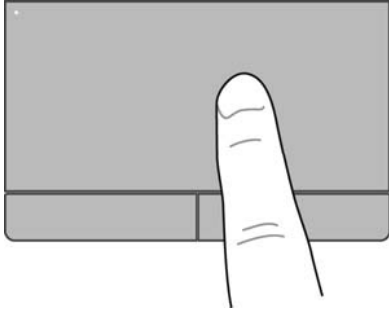
アイコン	説明
	このキーを押し続けると、画面輝度が一定の割合で徐々に上がります
	システムに接続されているディスプレイ間で画面を切り替えます。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合は、このキーを押すたびに、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。このキーでは、コンピューターからビデオ情報を受信している他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます
	オーディオ CD の前のトラック、または DVD の前のチャプターを再生します
	オーディオ CD または DVD の再生を開始、一時停止、または再開します
	オーディオ CD の次のトラック、または DVD の次のチャプターを再生します
	このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります
	このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります
	スピーカーの音を消したり元に戻したりします
	マイクをミュート（消音）にします
	キーボードのバックライトをオンまたはオフにします 注記： 出荷時設定では、キーボードのバックライトはオンになっています。バッテリーでの駆動時間を延ばすには、キーボードのバックライトをオフにします
	無線機能をオンまたはオフにします。このボタンは、一部のモデルでのみ使用可能です 注記： 無線接続を確立するには、事前に無線ネットワークがセットアップされている必要があります
	機内モードおよび無線機能をオンまたはオフにします 注記： 無線接続を確立するには、事前に無線ネットワークがセットアップされている必要があります

タッチパッドの使用

タッチパッドを使用すると、簡単な指の動きでコンピューターを操作できます。

移動

画面上のポインターを移動するには、タッチパッド上でポインターを移動したい方向に1本の指を滑らせます。

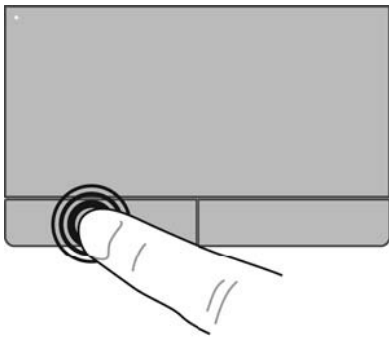


タッチパッドを使用してクリック、ダブルクリック、およびドラッグするには、以下の操作を行います。

1. 上部パネルの右端にある[System menu] (システムメニュー) アイコンをクリックしてから、[System Settings] (システム設定) → [Mouse and Touchpad] (マウスとタッチパッド) の順にクリックします。
2. オンまたはオフにするジェスチャを選択します。
3. 左上隅にある[x]をクリックして、ウィンドウを閉じます。


選択

タッチパッドの左右のボタンは、外付けマウスの対応するボタンと同様に機能します。



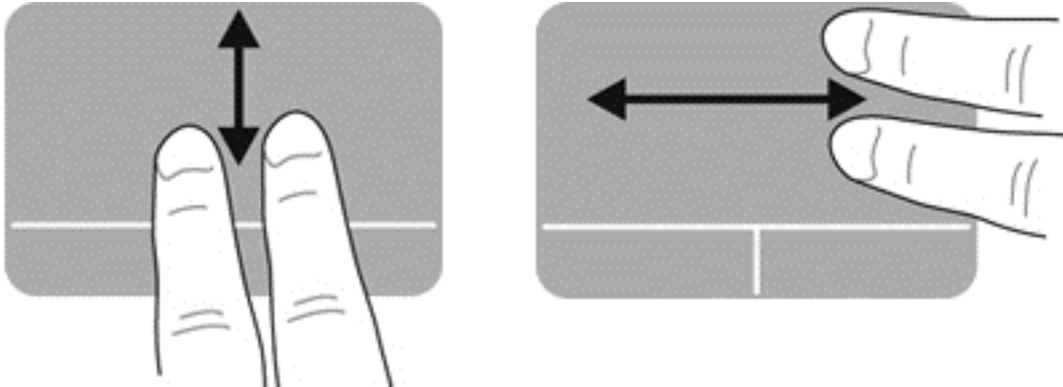
タッチパッド ジェスチャの使用

タッチパッド ジェスチャを使用するには、2本の指を同時にタッチパッド上に置くか、タッチパッドの端を使用します。

 **注記：** プログラムによっては、一部のタッチパッド ジェスチャに対応していない場合があります。

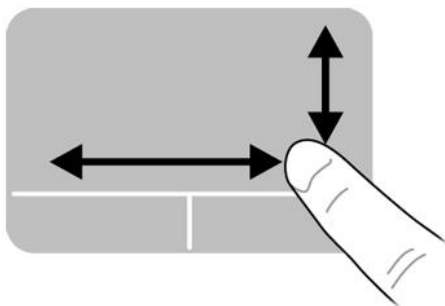
水平スクロール

水平スクロールは、ページや画像を上下左右に動かすときに便利です。スクロールするには、2本の指を少し離してタッチパッド上に置き、タッチパッド上で上下左右の方向にドラッグします。



エッジスクロール


エッジスクロールでは、タッチパッドの端を使用してスクロールを行えます。これが選択されている場合は、タッチパッドの右側で指を上下にスライドさせて上下方向にスクロールします。水平スクロールが有効になっている場合は、タッチパッドの下部に沿って指を左右に動かして水平方向にスクロールできます。



5 電源の管理

お使いのコンピューターは、バッテリー電源または外部電源で動作できます。コンピューターがバッテリー電源でのみ動作しており、外部電源を使用してバッテリーを充電することができない場合は、バッテリー残量を監視し、節約することが重要です。

コンピューターのシャットダウン


 **注意：** コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。

[shutdown] (シャットダウン) コマンドはオペレーティング システムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源を切ります。

以下の場合、コンピューターをシャットダウンします。

- バッテリーを交換したりコンピューター内部の部品に触れたりする必要がある場合
- USB ポート以外のコネクタに外付けハードウェア デバイスを接続する場合
- コンピューターを長期間使用せず、外部電源から切断する場合

コンピューターをシャットダウンするには、以下の操作を行います。

 **注記：** コンピューターがサスペンドまたはハイバネーション状態の場合は、シャットダウンする前にサスペンドまたはハイバネーションを終了させる必要があります。


1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. 上部パネルの右端にある[System menu] (システム メニュー) アイコンをクリックしてから、[Shutdown] (シャットダウン) → [Shut Down] (シャットダウン) の順にクリックします。

コンピューターが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の操作を記載されている順に試みて緊急シャットダウンを行います。

- 電源ボタンを 5 秒程度押し続けます。
- ユーザーによる交換が可能なバッテリーを搭載したコンピューターの場合は、コンピューターを外部電源から切断してから、バッテリーを取り外します。

電源オプションの設定

省電力設定の使用


 **注記：** ハイバネーション省電力状態およびハイブリッドスリープ省電力状態は、一部のモデルでのみ使用可能です。


お使いのコンピューターでは、2 つの省電力設定が出荷時に有効になっています。サスペンド、およびハイバネーションとハイブリッドスリープのどちらかです。

サスペンドが開始されると、電源ランプが点滅し画面表示が消えます。作業中のデータがメモリに保存されるため、サスペンド状態を終了するときはハイバネーションを終了するときよりも早く作業に戻れます。コンピューターが長時間サスペンド状態になった場合、またはサスペンド状態のときにバッテリーが完全なロー バッテリー状態になった場合は、ハイバネーションが開始されます。

ハイバネーションが開始されると、データがハードドライブのハイバネーション ファイルに保存されて、コンピューターの電源が切れます。

ハイブリッドスリープが開始されると、作業中のデータを含め、コンピューターの状態がメモリとハードドライブに同時に保存されます。ハイブリッドスリープを終了すると、コンピューターが再開され、以前の状態が復元されます。

 **注意：** オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、または情報の損失を防ぐため、ディスクや外付けメディア カードの読み取りまたは書き込み中にサスペンド、ハイバネーション、またはハイブリッドスリープを開始しないでください。

 **注記：** コンピューターがサスペンド、ハイバネーション、またはハイブリッドスリープ状態の場合は、無線接続やコンピューターの機能を実行することが一切できなくなります。


サスペンドの開始および終了

バッテリー電源を使用しているときも外部電源を使用しているときも操作しない状態が一定時間続いた場合に、システムがサスペンドを開始するよう出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトは、上部パネルの右端にある[System menu] (システムメニュー) アイコンをクリックしてから、[System Settings] (システム設定) → [Power] (電源) アイコンの順にクリックして変更できます。

コンピューターの電源がオンの場合、以下のどちらかの方法でサスペンドを開始します。

- 電源ボタンを短く押します。
- ディスプレイを閉じます。

 **注記：** これらの方法は、コンピューターがバッテリー電源で動作している場合のみ有効です。

- 上部パネルの右端にある[System menu] アイコン → [Suspend] (サスペンド) の順にクリックします。

サスペンドを終了するには、以下の操作を行います。

- ▲ 電源ボタンを短く押します。

コンピューターがサスペンドを終了すると、電源ランプが点滅から点灯に変わり、作業を中断した時点の画面に戻ります。

ハイバネーションまたはハイブリッドスリープの開始および終了 (一部のモデルのみ)

バッテリー電源を使用しているときも外部電源を使用しているときも操作しない状態が一定時間続いた場合、または完全なロー バッテリー状態に達した場合に、システムがハイバネーションまたはハイブリッドスリープを開始するよう出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトは、上部パネルの右端にある[System menu] (システムメニュー) アイコンをクリックしてから、[System Settings] (システム設定) → [Power] (電源) アイコンの順にクリックして変更できます。

コンピューターの電源が入っているときにハイバネーションを開始するには、以下の操作を行います。

- 電源ボタンを短く押し、[Hibernate] (ハイバネーション) をクリックします。
- 上部パネルの右端にある[System menu] アイコン → [Hibernate] の順にクリックします。

ハイバネーションを終了するには、以下の操作を行います。

- ▲ 電源ボタンを短く押します。

コンピューターがハイバネーションを終了すると、電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

[Power]（電源）アイコンの使用

[Power]アイコンは[System Settings]（システム設定）フォルダーにあります。[Power]アイコンを使用すると、電源設定にアクセスしたり、バッテリー充電残量を表示したり、別の電源プランを選択したりできます。


- コンピューターがバッテリー電源で動作しているときに充電残量率を表示するには、上部パネルの右端にある[System menu]（システムメニュー）アイコン→[System Settings]→[Power]アイコンの順にクリックします。
- コンピューターが外部電源に接続されているときにバッテリーの充電時間を表示するには、上部パネルの右側にある[Battery menu]（バッテリーメニュー）アイコンをクリックします。
- 電源設定にアクセスするには、上部パネルの右端にある[System menu]アイコンをクリックしてから、[System Settings]→[Power]アイコンの順にクリックします。

[Power Settings]（電源設定）の使用

[Power Settings]は、コンピューターの電源の使用方法を管理するためのシステム設定の集合です。[Power Settings]をカスタマイズして、節電したり、パフォーマンスを高めたりできます。

現在の[Power Settings]（電源設定）の表示

- ▲ 上部パネルの右端にある[System menu]（システムメニュー）アイコンをクリックしてから、[System Settings]（システム設定）→[Power]（電源）アイコンの順にクリックします。

 **注記：** 上部パネルの右端にある[Battery menu]（バッテリーメニュー）アイコン→[Power Settings]（電源設定）の順にクリックして、電源設定にすばやくアクセスすることもできます。

現在の[Power Settings]（電源設定）の変更

1. 上部パネルの右端にある[System menu]（システムメニュー）アイコンをクリックしてから、[System Settings]（システム設定）→[Power]（電源）アイコンの順にクリックします。
2. 必要に応じて、[On battery power]（バッテリー電源を使用）および[When plugged in]（電源に接続）で設定を変更します。

バッテリー電源での駆動

充電済みのバッテリーが装着され、外部電源に接続されていない場合、コンピューターはバッテリー電源で動作します。充電済みのバッテリーが装着され、外部電源に接続されているコンピューターからACアダプターを取り外すと、電源が自動的にバッテリー電源に切り替わり、バッテリー電源を節約するために画面の輝度が下がります。バッテリーをコンピューターに装着したままにしておくと、コンピューターを外部電源に接続していない場合は、コンピューターがオフのときでもバッテリーは徐々に放電していきます。

コンピューターのバッテリーは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

出荷時に搭載されているバッテリー（一部のモデルのみ）

この製品のバッテリーは、ユーザー自身で簡単に交換することはできません。バッテリーを取り外したり交換したりすると、保証が適用されない場合があります。バッテリーが充電されなくなった場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

バッテリーが寿命に達した場合、そのバッテリーを一般の家庭ごみと一緒に処分しないでください。使用済みのバッテリーは、お住まいの地域の地方自治体の条例または規則に従って、正しく処分してください。

バッテリーの種類について詳しくは、お使いのコンピューターに付属している『セットアップ手順』ポスター（印刷物）の「クイック セットアップ」を参照してください。

ユーザーが交換可能なバッテリーの取り外し（一部のモデルのみ）

⚠ 警告！ けがや事故、および機器の故障などの安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピューターに付属しているユーザーが交換可能なバッテリー、HP が提供する交換用バッテリー、または HP から購入した対応するバッテリーを使用してください。

⚠ 注意： コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときに、ユーザーが交換可能なそのバッテリーを取り外すと、情報が失われる可能性があります。バッテリーを取り外す場合は、情報の損失を防ぐため、作業中のデータを保存してからコンピューターをシャットダウンしてください。

バッテリーの種類について詳しくは、お使いのコンピューターに付属している『セットアップ手順』ポスター（印刷物）の「クイック セットアップ」を参照してください。

バッテリー充電残量の表示

▲ 上部パネルの右端にある[Battery menu]（バッテリー メニュー）アイコンをクリックします。

バッテリーの充電

⚠ 警告！ 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

バッテリーは、コンピューターが外部電源（AC アダプター経由）または別売の電源アダプターに接続されている間、常に充電されます。

バッテリーは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリーが新しいか 2 週間以上使用されていない場合、またはバッテリーの温度が室温よりも高すぎたり低すぎたりする場合、充電に時間がかかることがあります。

バッテリーの寿命を延ばし、バッテリー残量が正確に表示されるようにするには、以下の点に注意してください。

- 新しいバッテリーを充電する場合は、コンピューターの電源を入れる前にバッテリーを完全に充電してください。

📖 注記： コンピューターの電源が入っている状態でバッテリーを充電すると、バッテリーが完全に充電される前に通知領域のバッテリー メーターに 100% と表示される場合があります。

- 通常の使用で完全充電時の 5% 未満になるまでバッテリーを放電してから充電してください。
- 1 か月以上使用していないバッテリーは、単に充電を行うのではなく、バッテリー ゲージの調整を行います。

バッテリーでの駆動時間の最大化

バッテリーでの駆動時間を最大化するには、以下の操作を行います。

1. 上部パネルにある[Battery menu]（バッテリーメニュー）アイコン→[Power Settings]（電源設定）の順にクリックします。
2. [On battery power:]（バッテリー電源を使用：）で、以下の操作を行います。
 - [Suspend when inactive for]（次の時間アイドル状態が続いたらサスペンドする）の右側にあるドロップダウンメニューで、[30 minutes]（30分）を選択します。
 - [When power is critically low]（電源が非常に少なくなったとき）の右側にある[Hibernate]（ハイバネーション）または[Power off]（電源を切断）オプションを選択します。
 - [When the lid is closed]（カバーを閉じたとき）の右側にある[Suspend]（サスペンド）オプションを選択します。
3. [Close]（閉じる）をクリックします。

ローバッテリー状態への対処

ここでは、出荷時に設定されている警告メッセージおよびシステム応答について説明します。ローバッテリー状態の警告とシステム応答の設定は、電源設定を使用して変更できます。電源設定を使用して設定した変更は、ランプの状態には影響しません。

ローバッテリー状態の確認

コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときにバッテリーがローバッテリー状態または完全なローバッテリー状態になった場合は、以下のようになります。

- サスペンド状態のときは、短い時間サスペンド状態になってから、システムが終了します。このとき、保存されていない情報は失われます。

ローバッテリー状態の解決

外部電源を使用できる場合のローバッテリー状態への対処方法

- ▲ 以下のデバイスのどちらかを接続します。
 - ACアダプター
 - HPからオプション製品として購入した電源アダプター

充電済みのバッテリーを使用できる場合のローバッテリー状態への対処方法


1. コンピューターをシャットダウンします。
2. 放電したバッテリーを充電済みのバッテリーに交換します。
3. コンピューターの電源を入れます。

バッテリーの節電

- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続とローカルエリアネットワーク（LAN）接続をオフにして、モデムを使用するアプリケーションを使用後すぐに終了します。
- 外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、使用していないものをコンピューターから取り外します。


- 使用していない外付けメディアカードを停止するか、無効にするか、または取り出します。
- 画面の輝度を下げます。
- コンピューターを使用していないときは、サスペンドを開始するか、またはコンピューターをシャットダウンします。

バッテリーの保管

 **注意：** 故障の原因となりますので、バッテリーを温度の高い場所に長時間放置しないでください。


2週間以上コンピューターを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリーを取り出して別々に保管してください。

保管中のバッテリーの放電を抑えるには、気温や湿度の低い場所にバッテリーを保管してください。

 **注記：** 保管中のバッテリーは6か月ごとに点検する必要があります。容量が50%未満になっている場合は、再充電してから保管してください。

1か月以上保管したバッテリーを使用するときは、最初にバッテリーゲージの調整を行ってください。

使用済みのバッテリーの処分


 **警告！** 化学薬品による火傷や発火のおそれがありますので、分解したり、壊したり、穴をあけたりしないでください。また、バッテリーの接点をショートさせたり、火や水の中に捨てたりしないでください。

バッテリーの処分については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。バッテリーは消耗品です。日本では、コンピューターの使用済みバッテリーは、お住まいの地域の地方自治体の条例または規則に従って、正しく処分してください。


バッテリーの交換

コンピューターのバッテリーは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。


上部パネルの右端にある[Battery menu] (バッテリーメニュー) アイコンをクリックすると、バッテリーに関する詳細情報が表示されます。

 **注記：** 必要なときにバッテリー切れを起こさないようにするため、充電残量のインジケーターが緑がかった黄色になったら新しいバッテリーを購入することをおすすめします。


外部電源の使用

 **注記：** 外部電源の接続について詳しくは、コンピューターに付属の『セットアップ手順』ポスターを参照してください。

純正のACアダプター、または別売のドッキングデバイスや拡張デバイスを使用してコンピューターが外部電源に接続されている場合、コンピューターはバッテリー電源を使用しません。

 **警告！** 安全に関する問題の発生を防ぐため、コンピューターを使用する場合は、コンピューターに付属しているACアダプター、HPが提供する交換用ACアダプター、またはHPから購入した対応するACアダプターだけを使用してください。

以下のどれかの条件にあてはまる場合はコンピューターを外部電源に接続してください。

 **警告！** 航空機内でバッテリーを充電しないでください。

- バッテリーを充電するか、バッテリー ゲージを調整する場合
- システム ソフトウェアをインストールまたは変更する場合
- ディスクに情報を書き込む場合（一部のモデルのみ）
- バックアップまたは復元を実行する場合

コンピューターを外部電源に接続すると、以下のようになります。

- バッテリーの充電が開始されます。
- コンピューターの電源が入ると、上部パネルにある[Battery menu]（バッテリー メニュー）アイコンの表示が変わります。

外部電源の接続を外すと、以下のようになります。

- コンピューターの電源がバッテリーに切り替わります。
- バッテリー電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。

AC アダプターのテスト

外部電源に接続したときにコンピューターに以下の状況のどれかが見られる場合は、AC アダプターをテストします。

- コンピューターの電源が入らない。
- ディスプレイの電源が入らない。
- 電源ランプが点灯しない。

AC アダプターをテストするには、以下の操作を行います。


1. コンピューターをシャットダウンし、AC アダプターおよびすべての外付けデバイスを取り外します。
2. コンピューターからバッテリーを取り外します。
3. AC アダプターをコンピューターに接続してから、外部電源に接続します。
4. コンピューターの電源を入れます。
 - AC アダプター/バッテリー ランプが点灯した場合は、AC アダプターは正常に動作しています。
 - AC アダプター/バッテリー ランプが消灯したままになっている場合は、AC アダプターとコンピューターおよび AC アダプターと外部電源が、それぞれ確実に接続されていることを確認します。
 - コンピューターと AC アダプターおよび AC アダプターと外部電源がそれぞれ確実に接続されているにもかかわらず AC アダプター/バッテリー ランプが消灯したままになっている場合は、AC アダプターが故障している可能性があります。


交換用 AC アダプターを入手する方法については、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

6 情報の管理と共有

ドライブは、デジタルストレージ デバイスまたはソリッド ステート ドライブで、情報の保存、管理、共有、およびアクセスを可能にします。お使いのコンピューターには内蔵ハードドライブが搭載されており、ソフトウェアやオペレーティング システムを格納し、すべての個人用ファイルのためのストレージも提供しています。一部のコンピューターには、CD または DVD からの読み取りまたは書き込みができる内蔵オプティカル ドライブも搭載されています。

容量または機能を追加する場合は、オプティカル ドライブやハードドライブなどの外付けドライブ（別売）を接続するか、デジタルストレージ カードを挿入してスマートフォンやカメラの情報をインポートします。コンピューターの USB（Universal Serial Bus）ポートに USB フラッシュ ドライブを接続すると、すばやいデータ転送も可能になります。デバイスによって、コンピューターの電源を使用して稼動するものもあれば、独自の電源を持っているものもあります。一部のデバイスには、そのデバイスを使用する前にコンピューターにインストールする必要があるソフトウェアが付属しています。

 **注記：** 外付け無線デバイスの接続については、[4 ページの「ネットワークへの接続」](#)を参照してください。

 **注記：** 必要なソフトウェアやドライバー、および使用するコンピューターのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属している説明書を参照してください。

USB（Universal Serial Bus）デバイスの使用

ほとんどのコンピューターには USB ポートが複数あります。これは、このような多用途インターフェイスを使用すると、USB キーボード、マウス、外付けドライブ、プリンター、スキャナー、USB ハブなどの多種多様な外付けデバイスをコンピューターに接続できるためです。

コンピューターには、複数の種類の USB ポートがある場合があります。必ず、コンピューターに対応するデバイスを購入してください。

種類	説明
USB 2.0	データを 60 MB/秒で転送します
USB 3.0	データを 640 MB/秒で転送します。また、USB 3.0 ポートは USB 1.0 および 2.0 のデバイスにも対応しています

USB デバイスの接続

注意： USB ポートの損傷を防ぐため、デバイスを接続するときは無理な力を加えないでください。

▲ デバイスの USB ケーブルを USB ポートに接続します。

注記： お使いのコンピューターの USB ポートは、ここに記載されている図と多少異なる場合があります。



USB デバイスの取り外し

注意： USB ポートの損傷を防ぐため、USB デバイスを取り外すときはケーブルを引っ張らないでください。

注意： USB デバイスを安全に取り外すには、以下の操作を行ってください。

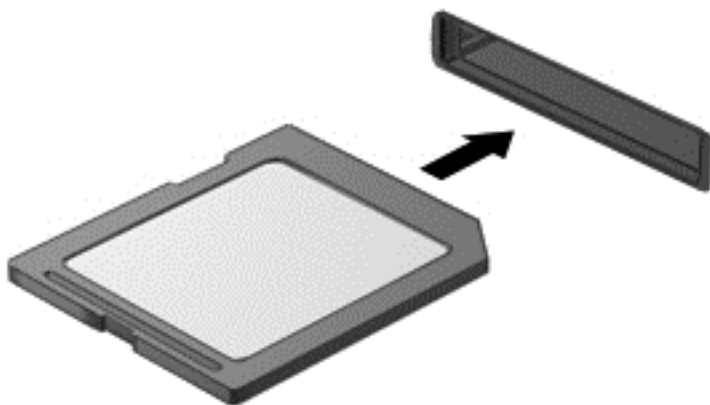
1. USB デバイスを取り外すには、情報を保存し、デバイスに関連するすべてのプログラムを閉じます。
2. デスクトップの左側にある[Launcher]（ランチャー）で[Home Folder]（ホーム フォルダー）を選択して、[File Browser]（ファイル ブラウザー）を開きます。
3. [File Browser]の左側の枠内の[Devices]（デバイス）一覧で、デバイス名の横にある[Eject]（取り出し）アイコンをクリックします。USB デバイスのアイコンが一覧から消え、そのデバイスを安全に取り外すことができます。
4. デバイスを取り外します。

デジタルストレージカードの挿入と取り出し

デジタルストレージカードを挿入するには、以下の操作を行います。

△ 注意： メディアカードコネクタの損傷を防ぐため、メディアカードを挿入するときは無理な力を加えないでください。

1. カードのラベルを上にし、コネクタをコンピューター側に向けて持ちます。
2. メディアスロットにカードを挿入し、カードがしっかりと収まるまで押し込みます。



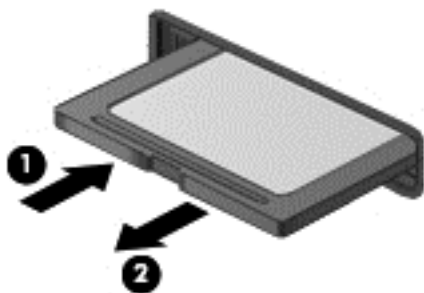
デジタルストレージカードを取り出すには、以下の操作を行います。

△ 注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行ってメディアカードを安全に取り出します。

1. 情報を保存し、メディアカードに関連するすべてのプログラムを閉じます。
2. デスクトップの左側にある[Launcher]（ランチャー）で、[Home Folder]（ホームフォルダー）から[File Browser]（ファイルブラウザ）を開きます。
3. [File Browser]の左側の枠内の[Devices]（デバイス）一覧で、メディアカード名の横にある[Eject]（取り出し）アイコンをクリックします。USBデバイスのアイコンが一覧から消え、そのデバイスを安全に取り外すことができます。

📄 注記： ハードウェアデバイスを安全に取り外すことができるというメッセージが表示されず。

4. カードをいったんスロットに押し込んで（1）、固定を解除してから取り出します（2）。



📄 注記： カードが出てこない場合は、カードを引いてスロットから取り出します。

オプティカルドライブの使用

オプティカルディスクドライブは、レーザー光を使用して大量の情報を読み取ったり保存したりします。情報の読み取りのみができるドライブもあれば、空のディスクに情報を書き込むことができるドライブもあります。

オプティカルドライブの最適なパフォーマンスのために、以下のヒントを参考にしてください。

- バッテリーのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前にバッテリーが十分に充電されていることを確認してください。
- オプティカルドライブ内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。
- ドライブのソフトウェアの最新の更新がインストールされていることを確認してください。
- 使用しているディスクが汚れている場合は、柔らかく乾いた毛羽立たない布で拭いてください。


お使いのコンピューターには、以下のディスク機能のうち1つまたは複数をサポートするオプティカルドライブが搭載されている場合があります。

- CD: コンパクトディスクには、オプティカルディスクドライブからレーザーで読み取ったデータが格納されています。以下のCD形式を利用できます。
 - CD-R (CD-Recordable) では、情報の読み取りおよび記録ができますが、記録可能な回数は1回のみです。CD-Rに情報が記録されると、変更したり消去したりすることはできず、恒久的な記録となります。
 - CD-RW (CD-Re-Writable) では、情報の読み取りおよび記録を何度でも行えます。CDの情報は消去することが可能です。
- DVD: デジタルビデオディスクは大容量のオプティカルディスクであり、CDよりも大量の情報を保存できます。両面DVDには最大17GBのデータを保存できます。以下のDVD形式を利用できます。
 - DVD-R または DVD+R (共に DVD-Recordable) では、情報の読み取りおよび記録ができますが、記録可能な回数は1回のみです。ディスクに情報が記録されると、変更したり消去したりすることはできず、恒久的な記録となります。これらのDVDは、DVD±Rドライブで使用できます。
 - DVD-RW または DVD+RW (共に DVD-Re-Writable) では、コンピューターが情報の読み取りおよび記録を何度でも行えます。ディスク上の情報は消去できます。これらのDVDは、DVD±Rドライブで使用できます。

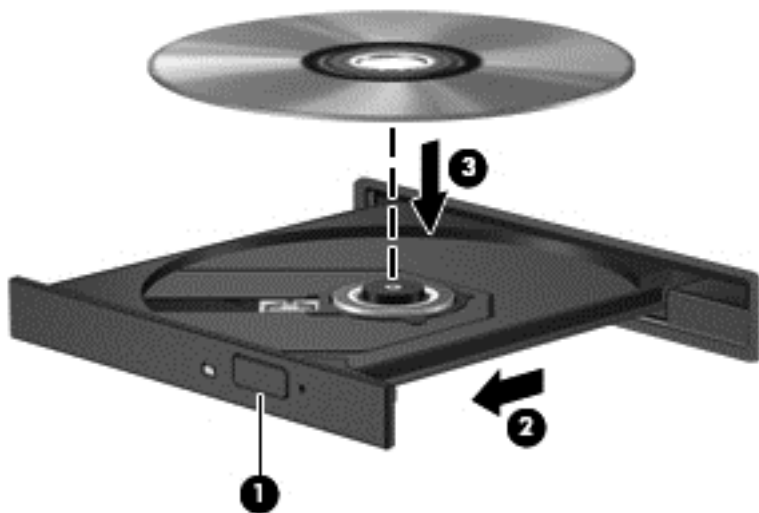
オプティカル ディスクの挿入

トレイ ローディング式


1. コンピューターの電源を入れます。
2. ドライブのフロントパネルにあるリリース ボタン (1) を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します (2)。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

 **注記:** ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。


5. 確実に収まるまでディスクをゆっくり押し下げます (3)。



6. ディスク トレイを閉じます。

 **注記:** ディスクの挿入後、プレーヤーの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。起動するメディアプレーヤーをあらかじめ選択していない場合は、[自動再生]ダイアログボックスが開き、メディアコンテンツの使用方法を選択するように要求されます。

スロット ローディング式

 **注意:** スロット ローディング式オプティカルドライブには、8 cm のオプティカルディスクを挿入しないでください。オプティカルドライブが損傷する可能性があります。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてします。

3. ディスクをスロット ローディング式のオプティカルドライブにゆっくりと挿入します。




オプティカルディスクの取り出し

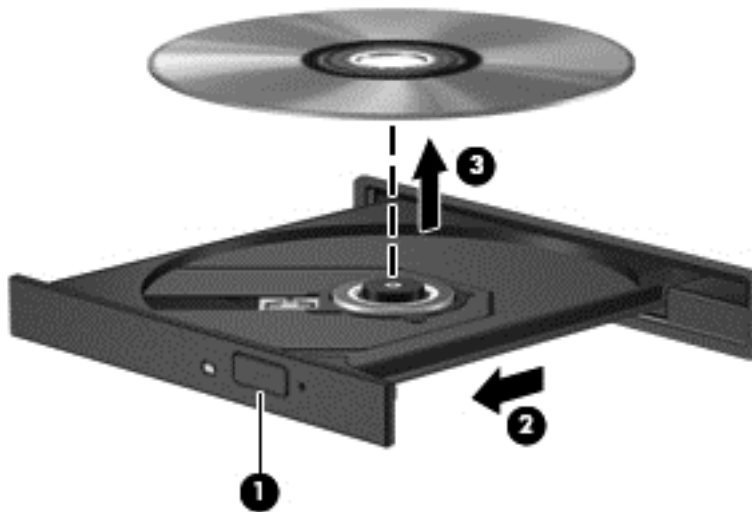
トレイ ローディング式

ディスクを取り出す方法は2通りあり、ディスクトレイが通常の操作で開く場合と開かない場合によって異なります。

ディスクトレイが正常に開く場合

1. ドライブのフロントパネルにあるリリースボタン(1)を押してディスクトレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します(2)。
2. 回転軸をそっと押さえながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します(3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記:** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。




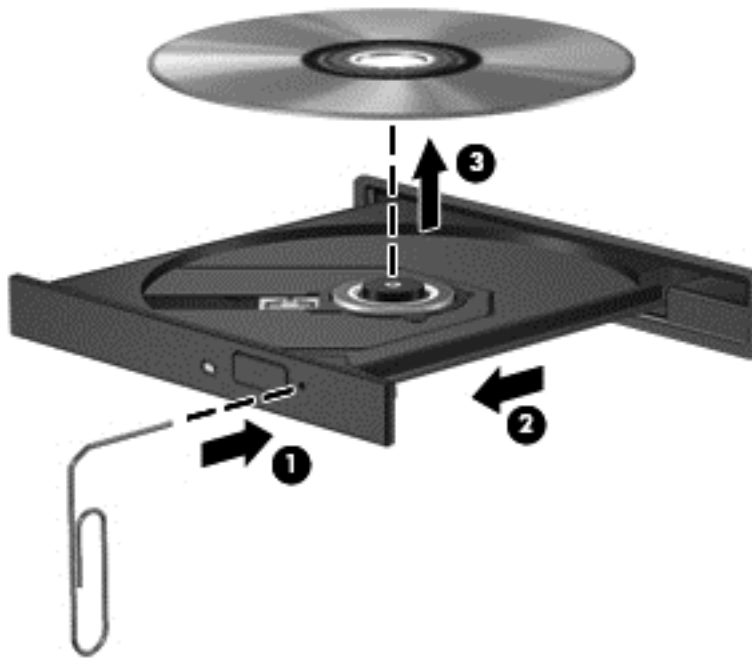
3. ディスクトレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

ディスクトレイが正常に開かない場合

1. ドライブのフロントパネルにある手動での取り出し用の穴にクリップの端を差し込みます(1)。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します(2)。

3. 回転軸をそっと押しえながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。



4. ディスクトレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

スロットローディング式

1. ドライブの横にあるリリースボタンを押します (1)。
2. ディスクの縁を持ち、平らな表面に触れないようにして、ディスクを取り出します (2)。



3. 取り出したディスクを保護ケースに入れます。

7 コンピューターのメンテナンス


プログラムおよびドライバーの更新

プログラムおよびドライバーを定期的に最新バージョンへ更新することをおすすめします。更新によって問題が解決し、コンピューターで新しい機能やオプションを使用できるようになります。テクノロジーは常に変化しているため、プログラムやドライバーを更新するとお使いのコンピューターで最新のテクノロジーを実行できます。たとえば、古いグラフィックス コンポーネントは最新のゲームソフトウェアで正しく動作しない場合があります。最新のドライバーがないと、お手持ちの装置を最大限に活用できません。

HP プログラムおよびドライバーの最新バージョンをダウンロードするには、<http://www.hp.com/support/> を参照してください。HP の Web サイトでは、アップデートが使用可能になったときに自動的に通知を受け取るように登録することもできます。

Ubuntu の無料自動更新を受け取るようにコンピューターを設定するには、以下の操作を行います。


1. 上部パネルの右端にある[About this computer]（このコンピューターについて）をクリックします。[Install updates]（アップデートをインストール）をクリックして、お使いのコンピューターで使用できるアップデートがあるかどうかを確認します。
2. [Update Manager]（アップデート マネージャー）ウィンドウで[Check]（確認）ボタンをクリックして、新しいソフトウェア アップデートがあるかどうかを確認します。
3. インストールする各アップデートの横にあるボックスにチェックを入れて、[Install Updates]（アップデートをインストール）ボタンをクリックします。
4. アップデートがインストールされたら、[Close]（閉じる）をクリックします。

 **注記：** ソフトウェア アップデートの設定を変更するには、[Update Manager]ウィンドウで [Settings]（設定）ボタンをクリックします。

コンピューターの清掃

お使いのコンピューターを安全に清掃するには、以下の製品を使用します。

- 濃度が 0.3%までのジメチル ベンジル塩化アンモニウム（使い捨てシートなど、これらのシートはさまざまなブランドで販売されています）
- ノンアルコールのガラス用クリーナー
- 低刺激性の液体石けん
- 乾いたマイクロファイバーのクリーニングクロスまたはセーム皮（油分を含まない、静電気防止布）
- 静電気防止クリーニング シート

 **注意：** コンピューターに修復できない傷が付いてしまう可能性があるため、強力なクリーニング溶剤は使用しないでください。クリーニング製品がコンピューターに対して安全かどうかわからない場合は、製品にアルコール、アセトン、塩化アンモニウム、塩化メチレン、炭化水素などが含まれていないかどうか確認します。

ペーパー タオルなどの繊維素材を使用すると、コンピューターに傷が付く可能性があります。時間がたつにつれて、ほこりの粒子や洗剤がその傷の中に入り込んでしまう場合があります。

清掃手順

お使いのコンピューターを安全に清掃するため、このセクションの手順に沿って作業をしてください。

⚠ 警告！ 感電やコンポーネントの損傷を防ぐため、電源が入っているときにコンピューターを清掃しないでください。

1. コンピューターをシャットダウンします。
2. AC アダプターを取り外します。
3. すべての外付けデバイスを取り外します。

⚠ 注意： 内部コンポーネントへの損傷を防ぐため、コンピューターに洗剤や液体を直接吹きかけないでください。表面から流れ落ちた液体によって、内部のコンポーネントに回復できない損傷を与える可能性があります。

ディスプレイの清掃（オールインワンまたはノートブック コンピューター）

ディスプレイは、ノンアルコールのガラス用クリーナーで湿らせた柔らかい布でやさしく拭いてください。ディスプレイを閉じる前に、ディスプレイが乾いていることを確認してください。

側面またはカバーの清掃

側面またはカバーを清掃するには、上記のどれかの洗浄液で湿らせた、柔らかいマイクロファイバーのクロスまたはセーム皮を使用するか、条件に合った使い捨てシートを使用してください。

📝 注記： コンピューターのカバーを清掃する場合は、ごみやほこりを除去するため、円を描くように拭いてください。

タッチパッド、キーボード、またはマウスの清掃

⚠ 警告！ 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくる場合があります。

⚠ 注意： 内部のコンポーネントへの損傷を防ぐため、キーとキーの間にクリーナーなどの液体が垂れないようにしてください。

- タッチパッド、キーボード、またはマウスを清掃するには、上記のどれかの洗浄液で湿らせた、柔らかいマイクロファイバーのクロスまたはセーム皮を使用するか、条件に合った使い捨てシートを使用してください。
- キーが固まらないようにするため、また、キーボードからごみや糸くず、細かいほこりを取り除くには、コンピューターの清掃用のブローア（圧縮空気入りの缶）などを使用してください。

コンピューターの持ち運びまたは送付

コンピューターを持ち運んだり発送したりする必要がある場合は、装置を安全に保持するために以下の点を参考にしてください。

- お使いのコンピューターを持ち運んだり荷物として送ったりする場合は、以下の手順で準備を行います。
 - 外付けドライブ等に情報をバックアップします。
 - すべてのディスクおよびすべての外付けメディア カード類をコンピューターから取り外します。
 - すべての外付けデバイスを、必要に応じてそれぞれの電源を切ってから取り外します。
 - ドライブ ベイからドライブを取り外す前に、ドライブからすべてのメディアを取り出してください。

△ 注意： ドライブの発送、保管、持ち運びなどを行う前に、この作業を実行してください。これにより、コンピューターやドライブの損傷、または情報の損失を防止できます。

- コンピューターをシャットダウンします。
- バックアップはコンピューターとは別に保管します。
- 飛行機に乗る場合などは、コンピューターを手荷物として持ち運び、他の荷物と一緒に預けないでください。


△ 注意： ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港のベルト コンベアなど機内持ち込み手荷物をチェックするセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

- 機内でコンピューターを使用する場合は、機内のアナウンスを聞いて、コンピューターの使用が許可されている時間を確認してください。機内でのコンピューターの使用を許可するかどうかは航空会社の判断に委ねられます。
- コンピューターを 2 週間以上使用せず、外部電源から切断する場合、バッテリーを取り外し、別途保管してください。
- コンピューターまたはドライブを荷物として送る場合は、緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノー取り扱い注意」と明記してください。
- コンピューターに無線デバイスが搭載されている場合、ある状況においてこれらのデバイスの使用は制限されることがあります。たとえば、航空機内、病院内、爆発物付近、および危険区域内です。特定の機器の使用に適用される規定が不明な場合は、コンピューターの電源を入れる前に、使用可能かどうかを確認して許可を得てください。
- コンピューターを持って国外に移動する場合は、以下のことを行ってください。
 - 行き先の国または地域のコンピューターに関する通関手続きを確認してください。
 - 滞在する国または地域に適応した電源コードを、滞在する国または地域の HP 製品販売店で購入してください。電圧、周波数、およびプラグの構成は地域によって異なります。

△ 警告！ 感電、火災、および装置の損傷などを防ぐため、コンピューターを外部電源に接続するときに、家電製品用に販売されている電圧コンバーターは使用しないでください。

8 コンピューターと情報の保護

コンピューターの保護

 **注記：** セキュリティソリューションは、抑止効果を発揮することを目的として設計されていますが、ソフトウェアによる攻撃、またはコンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

お使いのコンピューターが備えているセキュリティ機能で、コンピューター自体、個人情報、およびデータをさまざまなリスクから保護できます。コンピューターの使用方法によって、必要なセキュリティ機能が決まります。


セキュリティ機能には、オペレーティングシステムに付属しているものもあります。その他のセキュリティ機能は、以下の表のとおりです。これらのセキュリティ機能のほとんどは、セットアップユーティリティで設定できます。

セキュリティの対象	使用するセキュリティ機能
コンピューターの不正な使用	パスワードを使用した電源投入時の認証
セットアップユーティリティ (f10) への不正なアクセス	セットアップユーティリティの Administrator password (管理者パスワード) *
データへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none">ファイアウォールソフトウェア (初期設定では Ubuntu オペレーティングシステムにインストールされていません)オペレーティングシステムのアップデート
セットアップユーティリティ設定などのシステム識別情報への不正なアクセス	セットアップユーティリティの Administrator password*
コンピューターの不正な移動	セキュリティロック ケーブル用スロット (別売のセキュリティロックケーブルとともに使用)

* セットアップユーティリティは、コンピューターの電源投入時または再起動時に f10 キーを押してアクセスするユーティリティです。セットアップユーティリティを使用するときは、コンピューターのキーを使用して移動したり選択したりします。

パスワードの使用

パスワードとは、お使いのコンピューターの情報を保護するために選択する文字列です。情報へのアクセスの制御方法に応じてさまざまな種類のパスワードを選択できます。パスワードは、オペレーティングシステム、およびコンピューターにプリインストールされているセットアップユーティリティで設定できます。

 **注記：** コンピューターがロックされないように、パスワードはすべて書き留め、他人の目にふれない安全な場所に保管してください。

オペレーティング システムでのパスワードの設定

オペレーティング システム のパスワード	機能
root パスワード	オペレーティング システムの root レベルのアカウントへのアクセスを保護します
ユーザー パスワード	オペレーティング システムのユーザー アカウントへのアクセスを保護します

セットアップユーティリティ (BIOS) および[Computer Setup]でのパスワードの設定

パスワードの種類	機能
Administrator password (管理者パスワード) または BIOS administrator password (BIOS 管理者パスワード) *	<ul style="list-style-type: none">• セットアップ ユーティリティまたは[Computer Setup]へのアクセスを保護します• パスワードの設定後は、セットアップ ユーティリティまたは[Computer Setup]にアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります <p>注意: Administrator password を忘れた場合は、セットアップ ユーティリティまたは[Computer Setup]にアクセスできません</p> <p>注記: Power-on password (電源投入時パスワード) の代わりに Administrator password を入力することもできます</p> <p>注記: Administrator password は、設定、入力、変更、または削除する場合に表示されません</p> <p>注記: 電源を入れたときに Power-on password を入力した場合は、セットアップ ユーティリティまたは[Computer Setup]にアクセスするときに Administrator password を入力する必要があります</p>
Power-on password (電源投入時パスワード) *	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターのデータへのアクセスを保護します• パスワード設定後は、コンピューターの電源投入時、再起動時、またはハイバネーションの終了時には必ずこのパスワードを入力する必要があります <p>注意: Power-on password を忘れると、オペレーティングシステムの起動や再起動、およびハイバネーションの終了もできなくなります</p> <p>注記: Power-on password の代わりに Administrator password を入力することもできます</p> <p>注記: Power-on password は、設定時や入力時、変更時、および削除時にパスワードとして設定した文字が表示されません</p>

* 各パスワードについて詳しくは、以下の項目を参照してください。

Administrator password (管理者パスワード) の管理

パスワードを設定、変更、および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動した後すぐに **esc** キーを押し、次に **f10** キーを押してセットアップユーティリティ (BIOS) または[Computer Setup]を起動します。[Startup Menu] (スタートアップメニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。
2. **[Security]** (セキュリティ) キーを押し、画面の説明に沿って操作します。
変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

Administrator password（管理者パスワード）の入力

[Enter Password]（パスワードの入力）画面が表示されたら、Administrator password を入力して **enter** キーを押します。3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動し、入力しなおしてください。

Power-on password（電源投入時パスワード）の管理

パスワードを設定、変更、および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動した後すぐに **esc** キーを押し、次に **f10** キーを押してセットアップユーティリティ（BIOS）または[Computer Setup]を起動します。[Startup Menu]（スタートアップメニュー）が表示されたら **f10** キーを押します。
2. 矢印キーを使用して[Security]（セキュリティ）→[Set Power-On Password]（電源投入時パスワードの設定）の順に選択し、**enter** キーを押します。
 - Power-on password を設定するには、[Enter New Password]（新しいパスワードの入力）および[Confirm New Password]（新しいパスワードの確認）フィールドにパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
 - Power-on password を変更するには[Enter Current Password]（現在のパスワードの入力）フィールドに現在のパスワードを入力し、[Enter New Password]および[Confirm New Password]フィールドに新しいパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
 - Power-on password を削除するには、[Enter Current Password]フィールドに現在のパスワードを入力し、**enter** キーを 4 回押します。
3. 変更を保存してセットアップユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して[Exit]（終了）→[Exit Saving Changes]（変更を保存して終了）の順に選択します。

変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

Power-on password（電源投入時パスワード）の入力

[Enter Password]（パスワードの入力）画面が表示されたらパスワードを入力して **enter** キーを押します。3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動し、入力しなおしてください。

インターネットセキュリティソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピューターがコンピューターウイルス、スパイウェア、およびその他のオンラインの脅威にさらされる可能性があります。お使いのコンピューターを保護するために、ウイルス対策およびファイアウォール機能を含むインターネットセキュリティソフトウェアをインストールできます。新しく発見されたウイルスおよびその他のセキュリティリスクからコンピューターを保護するには、セキュリティソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。ソフトウェアを別途購入して、お使いのコンピューターを保護することを強くおすすめします。

ウイルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターウイルスに感染すると、プログラム、ユーティリティ、オペレーティングシステムなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。ウイルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウイルスを検出および駆除することができ、通常、ウイルスの被害にあった箇所を修復することもできます。

ファイアウォールソフトウェアの使用


ファイアウォールは、システムやネットワークへの不正なアクセスを防ぐように設計されています。Ubuntu オペレーティング システムは、どのポートも開かれていない状態で出荷されます。そのため、基本のオペレーティング システムにファイアウォール ユーティリティは含まれていません。ただし、デスクトップの左側の[Launcher]（ランチャー）にある[Ubuntu Software Center]（Ubuntu ソフトウェアセンター）を使用して、無料の Ubuntu ファイアウォール ユーティリティである[Gufw]をダウンロードできます。

[Gufw]をインストールするには、以下の操作を行います。


1. デスクトップの左側にある[Launcher]で、[Ubuntu Software Center]フォルダーをクリックします。
2. 検索バーに「Gufw」と入力し、**enter** キーを押します。
3. [Firewall Configuration]（ファイアウォール構成）アイコンをダブルクリックして、[Install]（インストール）ボタンをクリックします。
4. 画面の説明に沿って操作します。

[Gufw]のインストール後にファイアウォールの設定を表示または変更するには、以下の操作を行います。

1. デスクトップの左側にある[Launcher]で[Ubuntu Software Center]を選択し、[Gufw]をクリックします。

 **注記：** [Gufw]にアクセスするときに、root パスワードの入力を求められます。

2. 画面の説明に沿って操作します。

 **注記：** 特定の状況下では、ファイアウォールがインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールをすぐに再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、ファイアウォールを再設定する必要があります。

無線ネットワークの保護

無線ネットワークをセットアップする場合、常にセキュリティ機能を有効にします。詳しくは、[6 ページの無線 LAN の保護](#)を参照してください。

ソフトウェア アプリケーションおよび情報のバックアップ

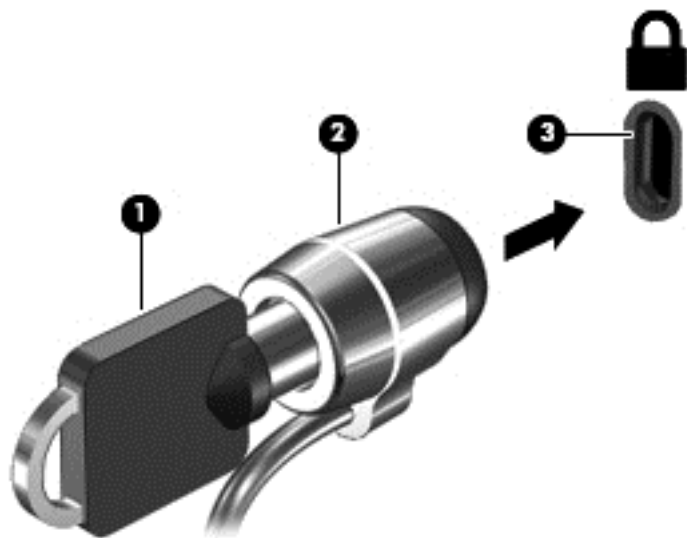
ソフトウェア アプリケーションおよび情報を定期的にバックアップして、ウィルスからの攻撃や、ソフトウェアまたはハードウェアの障害によって、アプリケーションおよび情報が恒久的に失われたり、損傷を受けたりしないように保護します。詳しくは、[44 ページの「バックアップおよび復元」](#)を参照してください。

別売のセキュリティ ロック ケーブルの使用

別売のセキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの誤った取り扱いや盗難を完全に防ぐものではありません。セキュリティ ロック ケーブルは、盗難をより確実に防止するために、完全なセキュリティ ソリューションの一部として実施すべきいくつかの方法のうちの 1 つにすぎません。

お使いのコンピューターのセキュリティ ロック ケーブル用スロットは、ここに記載されている図と多少異なる場合があります。


1. 固定された物体にセキュリティ ロック ケーブルを巻きつけます。
2. 鍵 (1) をセキュリティ ロック ケーブル (2) に差し込みます。
3. セキュリティ ロック ケーブルをコンピューターのセキュリティ ロック ケーブル用スロット (3) に差し込み、鍵をかけます。



4. 鍵を抜き、安全な場所に保管します。

9 セットアップユーティリティ (BIOS) および[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の使用

BIOS (Basic Input/Output System) と呼ばれるセットアップユーティリティは、システム上のすべての入出力デバイス (ディスクドライブ、ディスプレイ、キーボード、マウス、プリンターなど) 間で行われる通信を制御します。セットアップユーティリティを使用すると、取り付ける周辺機器の種類、コンピューターの起動順序、およびシステムメモリと拡張メモリの容量を設定できます。

 **注記:** セットアップユーティリティで設定変更を行う場合は、細心の注意を払ってください。設定を誤ると、コンピューターが正しく動作しなくなる可能性があります。

セットアップユーティリティの開始

- ▲ コンピューターの電源を入れるか再起動した後すぐに **esc** キーを押します。[Startup Menu] (スタートアップメニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。

セットアップユーティリティの使用

セットアップユーティリティの言語の変更

1. セットアップユーティリティを開始します。
2. 矢印キーを使用して[System Configuration] (システムコンフィギュレーション) →[Language] (言語) の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. 矢印キーを使用して言語を選択し、**enter** キーを押します。
4. 選択した言語を確認するメッセージが表示されたら、**enter** キーを押します。
5. 変更を保存してセットアップユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して[Exit]→[Exit Saving Changes] (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更はすぐに有効になります。

セットアップユーティリティでの移動および選択

セットアップユーティリティではタッチパッドはサポートされません。移動および選択は、キーを押して行います。

- メニューまたはメニュー項目を選択するには、矢印キーを使用します。
- 一覧から項目を選択したり、有効/無効などのフィールドを切り替えたりするには、それぞれ矢印キーを使用したり、**f5** キーおよび **f6** キーを使用したりします。
- 項目を選択するには、**enter** キーを押します。

- テキストボックスを閉じるか、またはメニュー表示に戻るには、**esc** キーを押します。
- セットアップユーティリティの起動中にその他の操作や選択項目の情報を表示するには、**f1** キーを押します。


システム情報の表示

1. セットアップユーティリティを開始します。
2. **[Main]** (メイン) メニューを選択します。システム時刻および日付などのシステム情報およびコンピュータの識別情報が表示されます。
3. 設定を変更しないでセットアップユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。
 - 矢印キーを使用して**[Exit]** (終了) → **[Ignore Changes and Exit]** (変更を無視して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。
または
 - 矢印キーを使用して、**[Exit]** → **[Exit Discarding Changes]** (変更を保存しないで終了) の順に選択します。**[Yes]** (はい) をクリックして、**enter** キーを押します。

セットアップユーティリティでの工場出荷時設定の復元

1. セットアップユーティリティを開始します。
2. 矢印キーを使用して**[Exit]** (終了) → **[Load Setup Defaults]** (初期設定値をロードする) の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. セットアップの確認が表示されたら、**enter** キーを押します。
4. 変更を保存してセットアップユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]** → **[Exit Saving Changes]** (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

セットアップユーティリティの工場出荷時設定は、次回コンピュータを起動したときに有効になります。

 **注記:** 工場出荷時設定に戻しても、パスワード、セキュリティ、および言語の設定は変更されません。


セットアップユーティリティの終了


- 現在のセッションからの変更内容を保存して、セットアップユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。
セットアップユーティリティのメニューが表示されていない場合は、**esc** キーを押して、メニュー画面に戻ります。矢印キーを使用して、**[Exit]** (終了) → **[Exit Saving Changes]** (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。
- 現在のセッションからの変更内容を保存しないで、セットアップユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。
 - 矢印キーを使用して**[Exit]** → **[Ignore Changes and Exit]** (変更を無視して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。
または
 - 矢印キーを使用して、**[Exit]** → **[Exit Discarding Changes]** (変更を保存しないで終了) の順に選択します。**[Yes]** (はい) をクリックして、**enter** キーを押します。

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の使用


[HP PC Hardware Diagnostics] (HP PC ハードウェア診断) は UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) であり、診断テストを実行して、コンピューターのハードウェアが正常に動作しているかどうかを確認できます。このツールはオペレーティングシステムの外で実行されるため、オペレーティングシステムまたはその他のソフトウェアコンポーネントが原因で発生する可能性のある問題からハードウェア障害を分離できます。

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) を起動するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、すばやく **esc** キーを押してから **f2** キーを押します。
BIOS は、以下の順序で 2 か所の診断ツールを検索します。
 - a. 接続されている USB ドライブ
 **注記：** [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) ツールを USB ドライブにダウンロードするには、[42 ページの\[HP PC Hardware Diagnostics\] \(UEFI\) の USB デバイスへのダウンロード](#)を参照してください。
 - b. BIOS
2. 診断ツールが開いたら、キーボードの矢印キーを使用して実行する診断テストの種類を選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

 **注記：** 診断テストを停止する必要がある場合は、**esc** キーを押します。

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の USB デバイスへのダウンロード

 **注記：** [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) は .exe ファイルのみが提供されているため、Windows® コンピューターを使用して、[HP UEFI Support Environment] (HP UEFI サポート環境) をダウンロードおよび構築する必要があります。

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) を USB デバイスにダウンロードするには、以下の 2 つの方法があります。

方法 1： [HP PC Hardware Diagnostics] のホームページで、最新バージョンの UEFI を入手する


1. HP の Web サイト、<http://hp.com/go/techcenter/pcdiags/> にアクセスします。
2. [HP PC Hardware Diagnostics 2-in-1 USB メモリ] セクションの [ダウンロード (2-in-1 USB メモリ v.x.x.x)] (「x.x.x」はバージョン番号) リンク → [保存] の順に選択して USB デバイスに保存します。

方法 2： [ドライバー&ダウンロード] ページで、特定の製品向けの以前または最新のバージョンの UEFI をダウンロードする

1. HP の Web サイト、<http://www.hp.com/> にアクセスします。
2. ページの上部にある [サポート] をポイントし、[ドライバー&ダウンロード] をクリックします。
3. テキストボックスに製品名を入力し、[検索] をクリックします。

または

[検出を開始する] をクリックして、お使いの製品が自動検出されるようにします。

 **注記：** [検出を開始する] で製品を自動検出させるには、自動検出プログラムの最新版または追加ファイルをインストールする必要がある場合があります。

4. お使いのコンピューターのモデルを選択し、オペレーティング システムを選択します。
5. [診断]セクションで、[HP UEFI Support Environment] (HP UEFI サポート環境) を選択して詳細を確認します。
6. [ダウンロードを開始する]→[保存]の順に選択して USB デバイスに保存します。

10 バックアップおよび復元

障害が発生した後にシステムの復元を実行すると、最後にバックアップを行ったときの状態に復元されます。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。

復元イメージの作成

[Recovery Media Creator]を使用して、コンピューターを工場出荷時の状態に修復または復元できません。DVD±RW オプティカルドライブを使用して、復元イメージのDVDを作成できます。USB デバイスに復元イメージを作成することもできます。

⚠ 注意: 復元機能を使用すると、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。工場出荷時にインストールされていた初期状態のオペレーティングシステム、プログラム、およびドライバーは、リカバリ ツールによって再インストールされます。工場出荷時にインストールされていなかったソフトウェア、ドライバー、およびアップデートは、手動でインストールする必要があります。データ ファイルおよび個人用ファイルはバックアップから復元する必要があります。

📖 注記: システム障害が発生した場合に備えて、復元イメージを作成しておくことをおすすめします。

DVD への復元イメージの作成

[Recovery Media Creator]または復元作成ソフトウェアを使用して、空の書き込み可能なDVD (DVD-R または DVD+R) を使用してシステム復元ディスクのセットを作成できます。復元用DVDは非常に重要なものであるため、信頼できる製造元による、空のDVD+Rディスクを使用することをおすすめします。復元イメージに使用可能な空のDVD+Rディスクは、最大3枚準備することをおすすめします。2枚以上のディスクを使用する場合は、作成した順に各ディスクに番号を付けます。ディスクに番号を付けておけば、コンピューターを工場出荷時の状態に復元する必要がある場合に、正しい順序でディスクを使用できます。

[Recovery Media Creator]を使用して復元用DVDを作成するには、以下の操作を行います。


1. 上部パネルの左端にある[Dash Home] (ダッシュ ホーム) アイコンをクリックし、検索ボックスに「recovery」と入力します。[Recovery Media Creator]を選択します。
2. [Please choose media type] (メディアの種類を選択) ウィンドウで、[DVD]アイコンをクリックします。
3. 画面の説明に沿って操作します。

復元作成ソフトウェアを使用して復元用DVDを作成するには、以下の操作を行います。


1. 上部パネルの右端にある[System menu] (システム メニュー) アイコンをクリックしてから、[System Settings] (システム設定) →[Backup] (バックアップ) の順にクリックします。
2. ウィンドウの左側にあるパネルで[Storage] (ストレージ) を選択し、[Backup Location] (バックアップの場所) の横にある下向き矢印をクリックして[Local Folder] (ローカル フォルダー) を選択してから、[Choose Folder] (フォルダーを選択) ボタンをクリックします。ウィンドウの左側にあるパネルでDVDを選択して、[OK]をクリックします。

3. ウィンドウの左側にあるパネルで[Overview] (概要) を選択し、[Back Up Now] (今すぐバックアップ) をクリックします。
4. 画面の説明に沿って操作します。

USB デバイスへの復元イメージの作成

 **注記:** この手順を開始する前に、外部電源がコンピューターに接続されていることを確認してください。

[Recovery Media Creator]または復元作成ソフトウェアを使用して、USB デバイスにシステム復元イメージを作成できます。作成手順を開始する前に、ストレージ デバイスに十分な空き領域があることを確認してください。ほとんどのモデルでは、USB デバイスに少なくとも 4 GB の空き領域が必要になります。ただし、お使いのコンピューターにインストールされているドライバーおよびソフトウェアによっては、4 GB を少し超える領域が必要になる場合があります。**最適な処理を行うため、8 GB 以上の領域がある USB デバイスを使用することをおすすめします。**

 **重要:** この手順を開始する前に、忘れずに USB デバイスをコンピューターの USB ポートに挿入してください。


[Recovery Media Creator]を使用して復元用 USB デバイスを作成するには、以下の操作を行います。

1. 上部パネルの左端にある[Dash Home] (ダッシュ ホーム) アイコンをクリックし、検索ボックスに「recovery」と入力します。[Recovery Media Creator]を選択します。
2. [Please choose media type] (メディアの種類を選択) ウィンドウで、[USB]アイコンをクリックします。
3. 画面の説明に沿って操作します。

復元作成ソフトウェアを使用して復元用 USB デバイスを作成するには、以下の操作を行います。

1. 上部パネルの右端にある[System menu] (システム メニュー) アイコンをクリックしてから、[System Settings] (システム設定) →[Backup] (バックアップ) の順にクリックします。
2. ウィンドウの左側にあるパネルで[Storage] (ストレージ) を選択し、[Backup Location] (バックアップの場所) の横にある下向き矢印をクリックして[Local Folder] (ローカル フォルダー) を選択してから、[Choose Folder] (フォルダーを選択) ボタンをクリックします。ウィンドウの左側にあるパネルで USB デバイスを選択して、[OK]をクリックします。
3. ウィンドウの左側にあるパネルで[Overview] (概要) を選択し、[Backup Now] (今すぐバックアップ) をクリックします。
4. 画面の説明に沿って操作します。


工場出荷時状態への復元

 **注記:** この手順を開始する前に、外部電源がコンピューターに接続されていることを確認してください。

DVD または USB デバイスの復元イメージを使用してコンピューターを工場出荷時の状態に復元するには、以下の操作を行います。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. コンピューターをシャットダウンします。
3. 1 枚目の復元用 DVD が挿入されているか、または USB デバイスがコンピューターに接続されていることを確認します。

4. コンピューターを再起動します。
5. システムが起動したら、**f9** キーを押してブート デバイス選択画面を表示し、復元イメージを含むデバイスを選択します。
6. **[Restore entire hard drive]** (ハードドライブ全体を復元) →**[Continue]** (続行) の順にクリックします。
7. 画面の説明に沿って操作します。

 **注記:** コンピューターを起動できず、システム復元ディスクを作成していなかった場合は、**Ubuntu オペレーティングシステム**の DVD を購入してオペレーティングシステムを再インストールする必要があります。詳しくは、製品に付属の小冊子『サービスおよびサポートを受けるには』を参照してください。日本以外の国や地域については、『Worldwide Telephone Numbers』(英語版)を参照してください。


データ ファイルのバックアップ

[Deja Dup]復元ツールを使用して、データ ファイルをバックアップできます。


データ ファイルを定期的なスケジュールでバックアップし、新しいバックアップを作成する必要があります。情報は、別売の外付けドライブ、ネットワーク ドライブ、またはディスクに手でバックアップできます。以下のようなときに、データを必ずバックアップしてください。

- 定期的にスケジュールされた時刻
- コンピューターを修復または復元する前
- ハードウェアまたはソフトウェアを追加/変更する前

[Deja Dup]復元ツールを使用してホーム ディレクトリ内のファイルをバックアップするには、以下の操作を行います。


 **注記:** 情報をバックアップする前に、バックアップ ファイルの保存先を指定したことを確認してください。

1. 上部パネルの右端にある**[System menu]** (システム メニュー) アイコンをクリックしてから、**[System Settings]** (システム設定) →**[Backup]** (バックアップ) アイコンの順にクリックします。
2. ウィンドウの左側にあるパネルで**[Folders]** (フォルダー) を選択し、**[Folders to back up]** (バックアップするフォルダー) でバックアップするフォルダーを選択します。
3. ウィンドウの左側にあるパネルで**[Storage]** (ストレージ) を選択し、**[Backup Location]** (バックアップの場所) の横にある下向き矢印をクリックして、ドロップダウン リストからバックアップの保存先を選択します。
4. ウィンドウの左側にあるパネルで**[Overview]** (概要) を選択し、**[Back Up Now]** (今すぐバックアップ) をクリックします。

 **注記:** さまざまな企業が提供するクラウドストレージ サービスにバックアップすることもできます。それらのサービスを使用すると、低料金でバックアップを保管できます。バックアップを簡単に外部の安全な環境に保管できるため、クラウド サービスを利用することをおすすめします。

データ ファイルの復元

[Deja Dup]復元ツールを使用して、データ ファイルを復元できます。


 **注記:** この手順を開始する前に、外部電源がコンピューターに接続されていることを確認してください。

バックアップ ファイルからデータを復元するには、以下の操作を行います。

1. 上部パネルの右端にある[System menu] (システム メニュー) アイコンをクリックしてから、[System Settings] (システム設定) →[Backup] (バックアップ) アイコンの順にクリックします。
2. [Restore] (復元) をクリックし、バックアップ ファイルの場所およびフォルダー名を選択してから、[Forward] (次へ) をクリックします。
3. [Restore from When?] (次の日付に復元) で、復元するファイルの日付を選択し、[Forward] をクリックします。
4. 場所およびファイルの復元先フォルダーを選択し、[Forward] をクリックします。
5. 画面の説明に沿って操作します。
6. [Restore] をクリックして、ファイルの復元を開始します。操作をキャンセルする場合は、[Cancel] (キャンセル) をクリックします。

11 サポート


HP のサポート窓口へのお問い合わせ

 **注記:** 『Ubuntu Desktop Guide』(Ubuntu デスクトップガイド)を表示するには、**f1** キーを押します。

このユーザー ガイドまたは『Ubuntu Desktop Guide』で提供されている情報で問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。

ここでは、以下のことを行うことができます。


- HP のサービス担当者とオンラインでチャットする

 **注記:** ご希望の言語がチャットサポートに対応していない場合は、英語でのサポートをご利用ください。

- HP のサポート窓口で電子メールで問い合わせる
- HP のサポート窓口の電話番号を調べる
- HP のサービス センターを探す

ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決するために問い合わせたり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な基本情報が記載されています。

 **重要：** このセクションで説明するラベルは、お使いのコンピューターのモデルによってコンピューターの裏面、バッテリーベイ内、または底面カバーの下のどこかに貼付されています。

- サービスラベル: お使いのコンピューターを識別するための重要な情報が記載されています。サポートにお問い合わせになる場合はシリアル番号が必要です。さらに、製品番号またはモデル番号を求められる可能性があります。お問い合わせになる前に、これらの番号を確認しておいてください。

サービスラベルは、下に示す例のどちらかのような外観です。お使いのコンピューターのサービスラベルに近い図を参照してください。



名称

- (1) シリアル番号
- (2) 製品番号
- (3) 保証期間
- (4) モデル番号 (一部のモデルのみ)

- 規定ラベル: コンピューターの規定に関する情報が記載されています。
- 無線認定/認証ラベル: 無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の認定マークが記載されています。

12 仕様

入力電源

ここで説明する電源の情報は、お使いのコンピューターを国外で使用する場合に役立ちます。


コンピューターは、AC 電源または DC 電源から供給される DC 電力で動作します。AC 電源は 100~240V (50/60 Hz) の定格に適合している必要があります。コンピューターは単独の DC 電源で動作しますが、コンピューターの電力供給には、このコンピューター用に HP から提供および認可されている AC アダプターまたは DC 電源のみを使用する必要があります。


お使いのコンピューターは、以下の仕様の DC 電力で動作します。動作電圧と電流はプラットフォームによって異なります。

入力電源	定格
動作電圧および電流	19 V DC (2.1 A、40 W の場合)
	19.5 V DC (2.31 A、45 W の場合)
	19.5 V DC (3.33 A、65 W の場合)
	19.5 V DC (4.62 A、90 W の場合)
	19.5 V (6.15 A、120 W の場合)
	19.5 V (7.69 A、150 W の場合)
	19.5 V DC (10.25 A、スリム型 200 W の場合)
	19.5 V DC (11.79 A、スリム型 230 W の場合)

HP 外部電源用 DC プラグ



 **注記:** この製品は、最低充電量 240 V rms 以下の相対電圧によるノルウェーの IT 電源システム用に設計されています。

 **注記:** コンピューターの動作電圧および動作電流は、システムの規定ラベルに記載されています。

動作環境

項目	国際単位系
温度	
動作時	5~35°C
非動作時	-20~60°C
相対湿度 （結露しないこと）	
動作時	10~90%
非動作時	5~95%
最大標高 （非与圧）	
動作時	-15~3,048 m
非動作時	-15~12,192 m

13 静電気対策

静電気の放電は、じゅうたんの上を歩いてから金属製のドアノブに触れたときなど、2つのものが接触したときに発生します。

人間の指など、導電体からの静電気の放電によって、システムボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなったりすることがあります。静電気に弱い部品を取り扱う前に、以下で説明する方法のどれかで身体にたまった静電気を放電してください。

- 部品などの取り外しまたは取り付けの手順で、コンピューターから電源コードを取り外すように指示されている場合は、正しくアースしてから電源コードを取り外し、その後カバーを外すなどの作業を行います。
- 部品は、コンピューターに取り付ける直前まで静電気防止用のケースに入れておきます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。電子部品に触れる回数をなるべく少なくします。
- 磁気を帯びていない道具を使用します。
- 部品を取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電します。
- 取り外した部品は、静電気防止用のケースに入れておきます。


静電気についての詳しい情報、または部品の取り外しや取り付けに関するサポートが必要な場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

14 ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方もどなたでも使える製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システムの支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせて機能するようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、お使いのデバイスの検索機能を使用してください。

 **注記：** 特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイトまたは日本向けの日本語モデル製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

索引

- A**
Administrator password (管理者パスワード)
管理 36
作成 36
入力 37
Administrator password の管理 36
- B**
Bluetooth
デバイス 4, 7
ラベル 49
- D**
DisplayPort
接続 11
- H**
HDMI
オーディオの設定 13
HDMI 出力端子
接続 12
HD 対応デバイス、接続 12
HP PC Hardware Diagnostics (UEFI)
使用 42
ダウンロード 42
[HP Wireless Assistant]ソフトウェア 4
- P**
Power-on password (電源投入時パスワード)
管理 37
作成 37
入力 37
Power-on password (電源投入時パスワード) の入力 37
- U**
USB ケーブル、接続 26
- USB デバイス
接続 26
説明 25
取り外し 26
USB ハブ 25
- V**
VGA コネクタ、接続 10
- W**
Web カメラ 9
- あ**
アイコン
ネットワーク 4
無線 4
有線ネットワーク 4
- い**
インターネットセキュリティソフトウェア、使用 37
インターネット接続のセットアップ 6
- う**
ウイルス対策ソフトウェア、使用 37
- お**
オーディオ機能
HDMI 用の設定 13
確認 10
オプティカル ディスク
挿入 29
取り出し 30
オペレーティングシステム 18
パスワードの設定 36
温度 23
- か**
書き込み可能メディア 19
確認、オーディオ機能 10
完全なローバッテリー状態 22
- 管理
Power-on passwrд (電源投入時パスワード) 37
- き**
企業無線 LAN への接続 7
規定情報
規定ラベル 49
無線認定/認証ラベル 49
- け**
ケーブル
DisplayPort 12
HDMI 12
USB 26
VGA 11
- こ**
公共無線 LAN への接続 7
工場出荷時設定、復元 41
コネクタ
DisplayPort 11
VGA 10
外付けモニター 10
コンピューター
運搬 34
エンターテインメント機能 1
清掃 32
手入れ 32
電源切断 18
持ち運び 23, 34, 49
- さ**
サービス ラベル
位置 49
最適な使用方法 1
サスペンド
開始 19
終了 19
- し**
システム情報
表示 41

システムの応答停止 18

シャットダウン 18

出力端子

HDMI 12

初期設定、復元 41

シリアル番号 49

シリアル番号、コンピューター
49

す

スクロール タッチパッド ジェス
チャ 17

スロット ローディング式オプティ
カルドライブ 29

せ

静電気対策 52

製品名および製品番号、コンピュ
ーター 49

セキュリティ
無線 6

セキュリティ ロック ケーブル、接
続 38

接続

別売のセキュリティ ロック
ケーブル 38

セットアップ ユーティリティ
移動 40

起動 40

言語の変更 40

システム情報の表示 41

終了 41

初期設定の復元 41

選択 40

パスワードの設定 36

節約、電力 22

そ

外付けモニター コネクタ 10

ソフトウェアと情報のバックアッ
プ 38

た

タッチパッド
使用 16

タッチパッド ジェスチャ 17
スクロール 17

て

電力、節約 22

と

動画 10

動作環境 51

ドライブ メディア 19

トレイ ローディング式オプティカ
ルドライブ 29

に

入力

Administrator password (管理者
パスワード) 37

入力電源 50

ね

ネットワーク接続アイコン 4

は

ハイバネーション

開始 19

完全なローバッテリー状態での
開始 22

終了 19

パスワード

オペレーティング システムで
の設定 36

セットアップ ユーティリティ
での設定 36

バックアップ 44

バッテリー

温度 23

駆動時間の最大化 22

充電 21

処分 23

節電 22

電源 20

保管 23

ローバッテリー状態 22

ハブ 25

ほ

保管、バッテリー 23

ま

マウス、外付け
オプションの設定 14

む

無線 LAN デバイス 5, 49

無線 LAN のセットアップ 6

無線 LAN への接続 7

無線 LAN ラベル 49

無線アイコン 4

無線コントロール

[HP Wireless Assistant]ソフト
ウェア 4

オペレーティング システム 4
ボタン 4

無線認定/認証ラベル 49

無線ネットワーク (無線 LAN)

企業無線 LAN への接続 7

公共無線 LAN への接続 7

使用 5

セキュリティ 6

接続 7

動作範囲 7

必要な機器 6

保護 38

無線ボタン 4

無線ランプ 4

め

メディア カード

挿入 27

取り出し 27

ゆ

ユーザー サポート 53

よ

読み取り可能メディア 19

ら

ラベル

Bluetooth 49

規定 49

サービス 49

シリアル番号 49

無線 LAN 49

無線認定/認証 49

り

裏面 49

ろ

ロー バッテリー状態 22